

八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事

設計図

令和 6 年 6 月

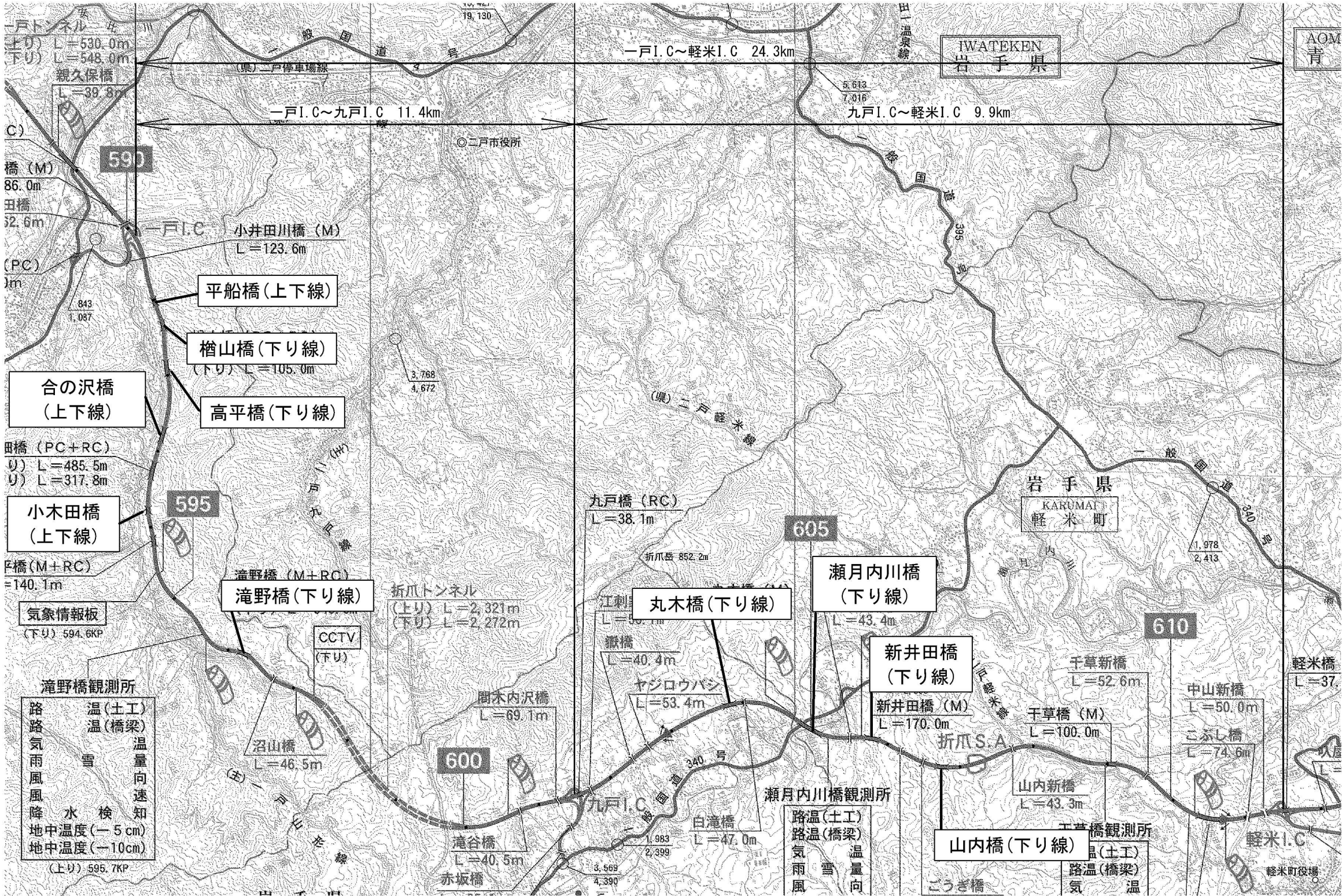
東日本高速道路株式会社 東北支社
八戸管 理 事 務 所

橋梁位置図(その1)



八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	橋梁位置図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

橋梁位置図(その2)



八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	橋梁位置図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

目 次

1.櫛引馬淵川橋(下り線)	No.1
2.市川橋(上下線)	No.2
3.奥入瀬川橋(上下線)	No.3
4.下田橋(上下線)	No.4
5.仮設段差防止構造	No.5

八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事

櫛引馬淵川橋
(下り線)

八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事

櫛 引 馬 淵 川 橋 （下り線）

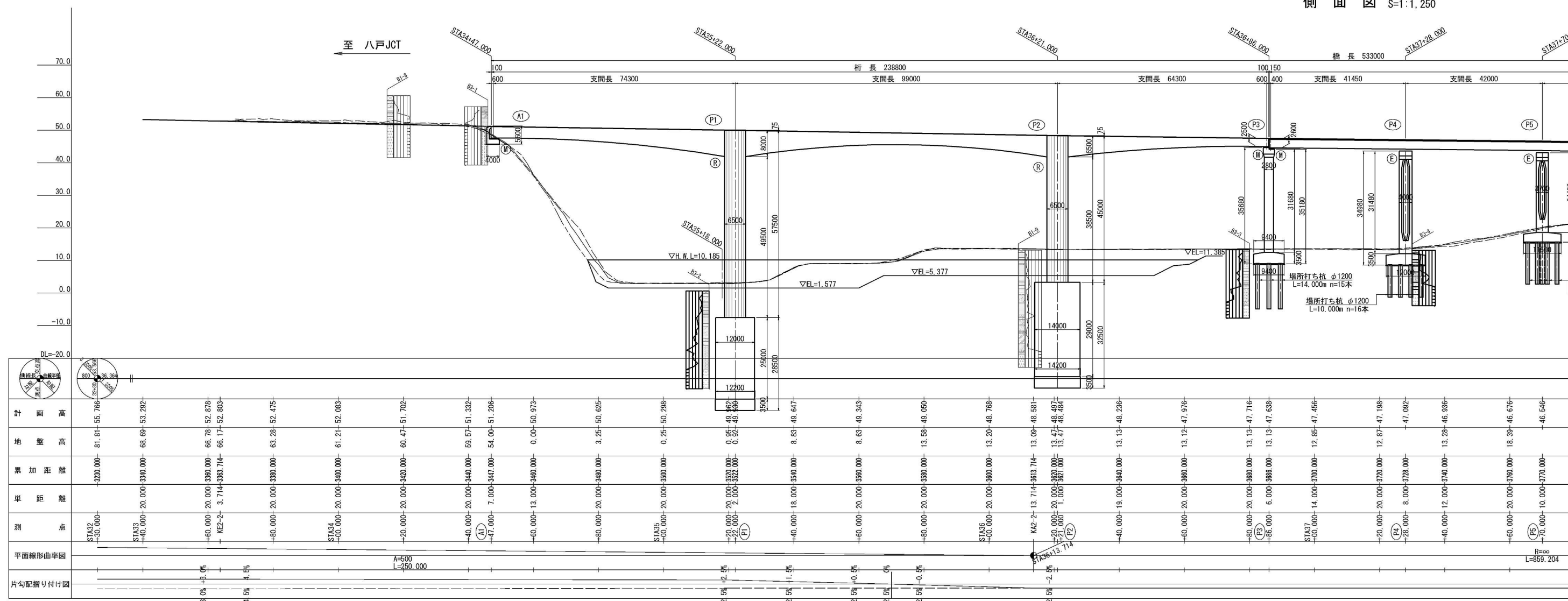
図 面 目 次

番 号	名 称	番 号	名 称
1	櫛引馬淵川橋 数量総括表	40	櫛引馬淵川橋 交通保安要員配置図
2	櫛引馬淵川橋 現況一般図		
3	櫛引馬淵川橋 耐震補強一般図		
4 ～ 5	櫛引馬淵川橋 主桁繊維シート補強工図（その1）～（その2）		
6	櫛引馬淵川橋 P2橋脚補強一般図		
7 ～ 8	櫛引馬淵川橋 P2橋脚補強配筋図（その1）～（その2）		
9	櫛引馬淵川橋 P8橋脚補強一般図		
10	櫛引馬淵川橋 P8橋脚補強配筋図		
11	櫛引馬淵川橋 P9橋脚補強一般図		
12 ～ 13	櫛引馬淵川橋 P9橋脚補強配筋図（その1）～（その2）		
14	櫛引馬淵川橋 補修一般図		
15	櫛引馬淵川橋 断面修復工図		
16	櫛引馬淵川橋 表面保護工図		
17 ～ 35	櫛引馬淵川橋 下部工検査路図（その1）～（その19）		
36	櫛引馬淵川橋 工事用道路計画図		
37	櫛引馬淵川橋 構造物掘削図(普通部)		
38	櫛引馬淵川橋 構造物掘削図(特殊部K)		
39	櫛引馬淵川橋 交通規制工図		

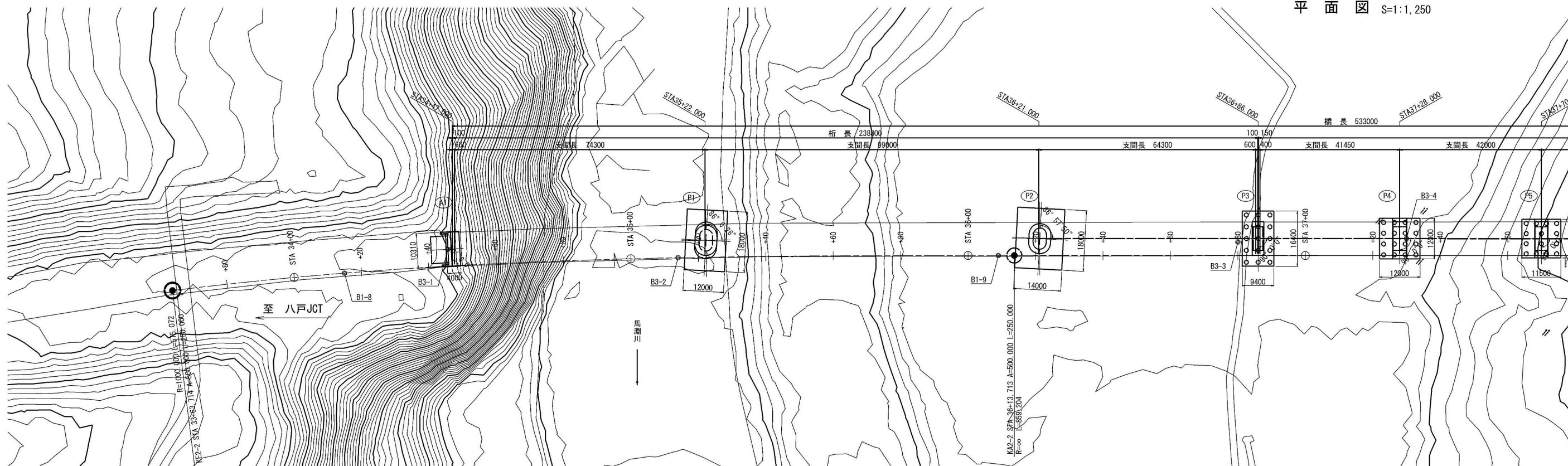
項目	細 別		単位	数 量											適 用	
				A1	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	A2		合計
構造物掘削	普通部		m ³	—	—	—	—	—	—	—	—	78.8	87.5	—	166.3	
	特殊部K		m ³	—	—	2,388.9	—	—	—	—	—	—	—	—	2,388.9	
コンクリート	A1－5(K)		m ³	—	—	251.9	—	—	—	—	—	75.9	51.3	—	379.1	
型わく	TH(K)		m ²	—	—	1,030.6	—	—	—	—	—	318.4	202.1	—	1,551.1	
鉄筋	T(K)	D13	t	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.000	
		D16～D25	t	—	—	43.938	—	—	—	—	—	7.039	1.976	—	52.953	
		D29～D32	t	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.000	
		D35	t	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.243	—	6.243	
		計	t	—	—	43.938	—	—	—	—	—	7.039	8.219	—	59.196	
耐震補強用コンクリート表面処理工			m ²	—	—	970.3	—	—	—	—	—	288.7	179.8	—	1,438.8	
耐震補強用アンカー工	アンカー工 φ32－V		本	—	—	92.0	—	—	—	—	—	80.0	—	—	172.0	
	アンカー工 φ45－V		本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	76.0	—	76.0	
中間貫通鋼材工			kg	—	—	—	—	—	—	—	—	—	297.6	—	297.6	PC鋼棒φ32
主桁繊維シート補強工	下地処理工		m ²	—	105.7			—	—	—	—	—	—	—	105.7	
	炭素繊維シート工A		m ²	—	78.6			—	—	—	—	—	—	—	78.6	目付量200g/m2
	炭素繊維シート工B		m ²	—	8.8			—	—	—	—	—	—	—	8.8	目付量300g/m2
	炭素繊維シート工C		m ²	—	36.8			—	—	—	—	—	—	—	36.8	目付量400g/m2
	表面仕上工A		m ²	—	94.6			—	—	—	—	—	—	—	94.6	
	補強鋼板設置工		kg	—	867.1			—	—	—	—	—	—	—	867.1	
コンクリート除去工			m ³	3.840	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.840	
断面修復工	C(K)		L	3,840.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,840.0	亜硝酸入り
表面保護工	コンクリート表面被覆工		m ²	27.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27.4	
検査路	B(K)		kg	—	—	—	—	2,427.0	2,406.0	2,312.0	2,312.0	2,289.0	2,204.0	—	13,950.0	鋼製検査路
	C(K)		kg	—	—	—	1,196.7	—	—	—	—	—	—	—	1,196.7	FRP製検査路
交通規制工	路肩規制A1 I×1		回	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0	
交通保安要員	交通監視員		人・日	37.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	37.0	
	交通誘導警備員A		人・日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	330.0	330.0	
	交通誘導警備員B		人・日	37.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	37.0	

八 戸 自 動 車 道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋		
	数量総括表		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

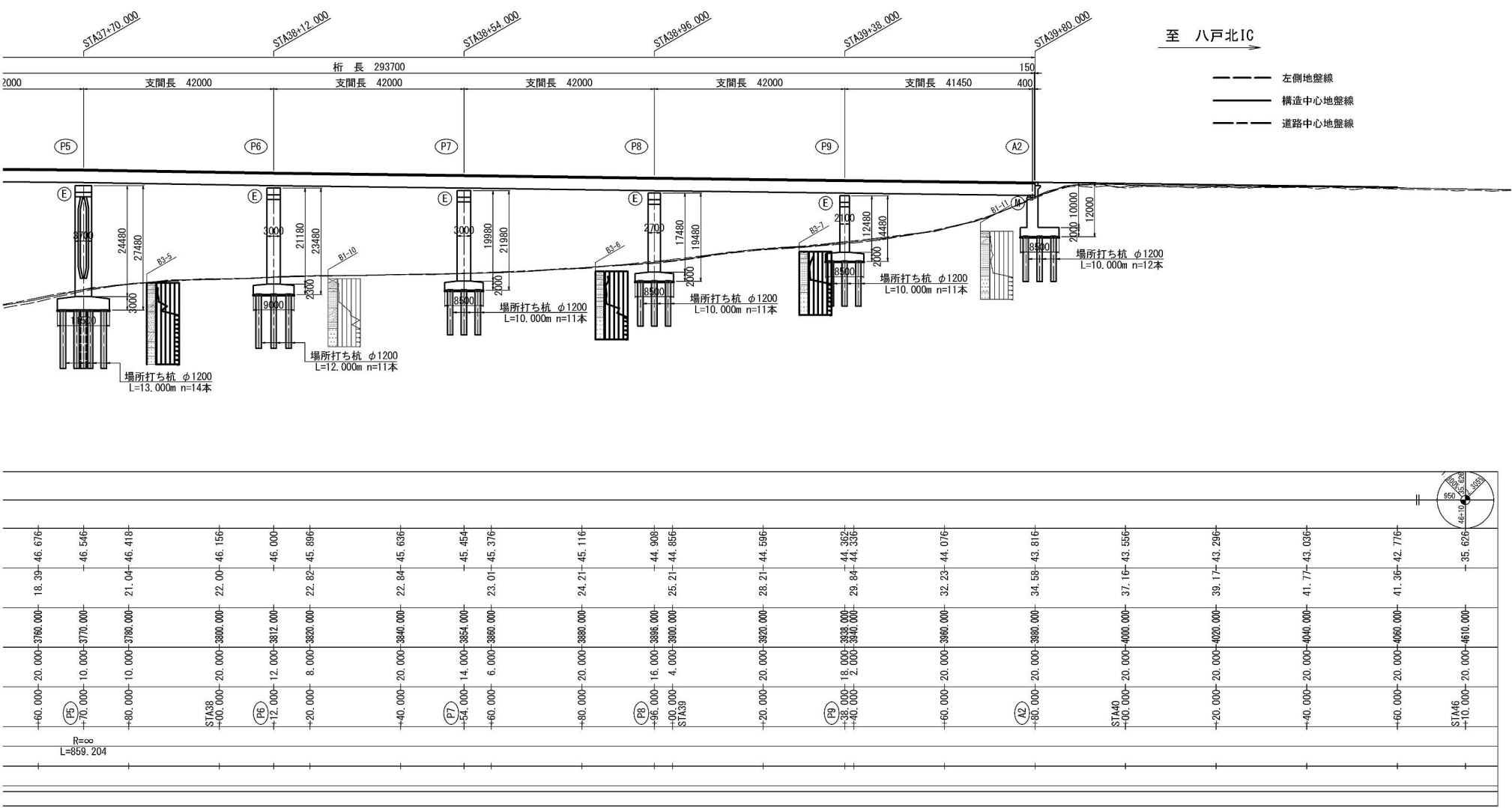
側 面 図 S=1:1, 250



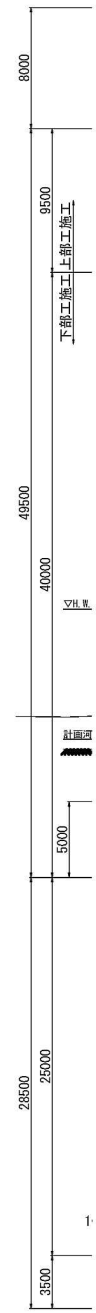
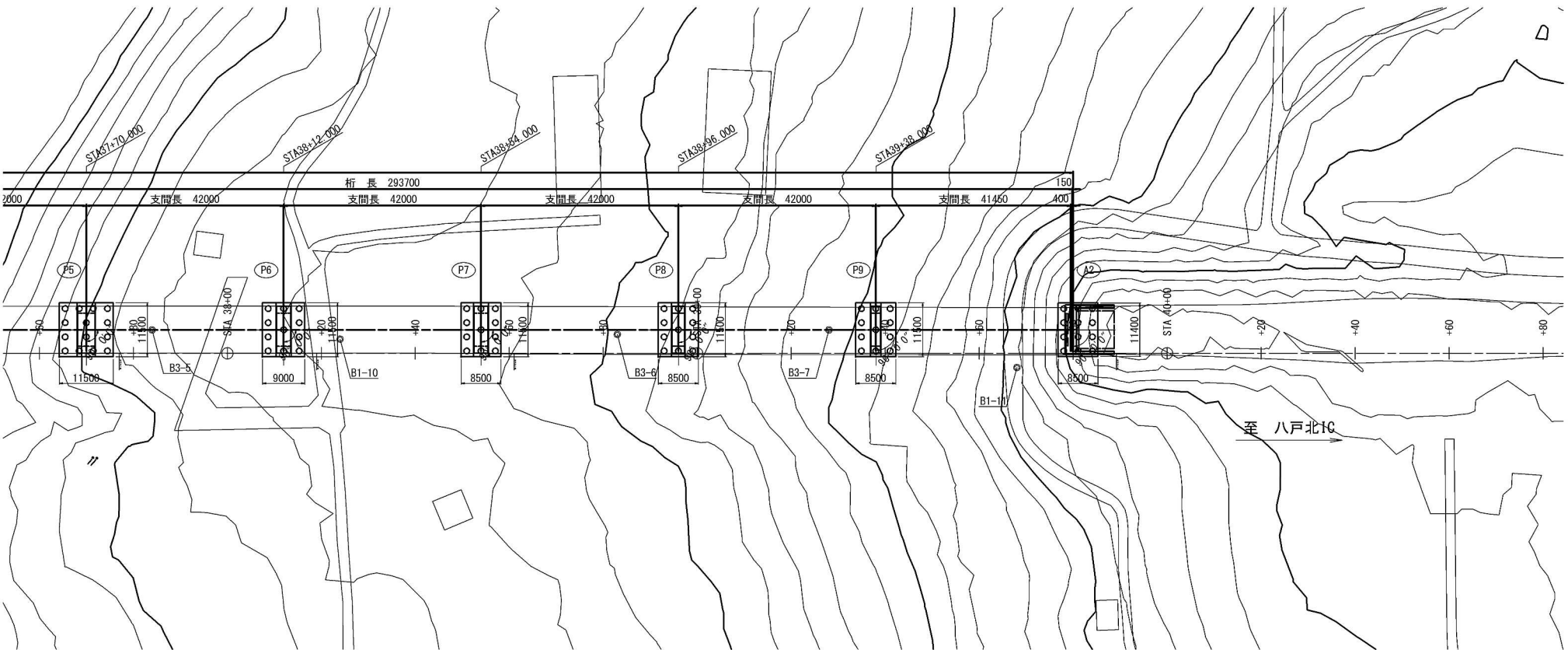
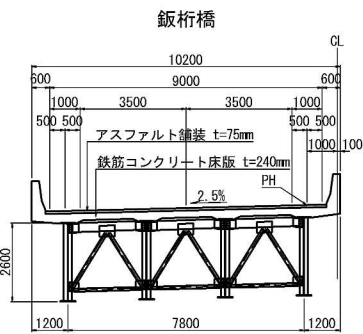
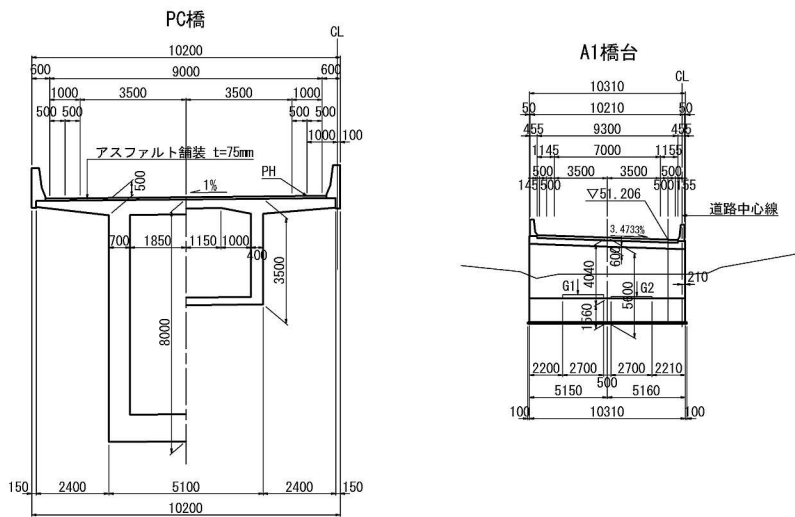
平面图 S=1:1, 250



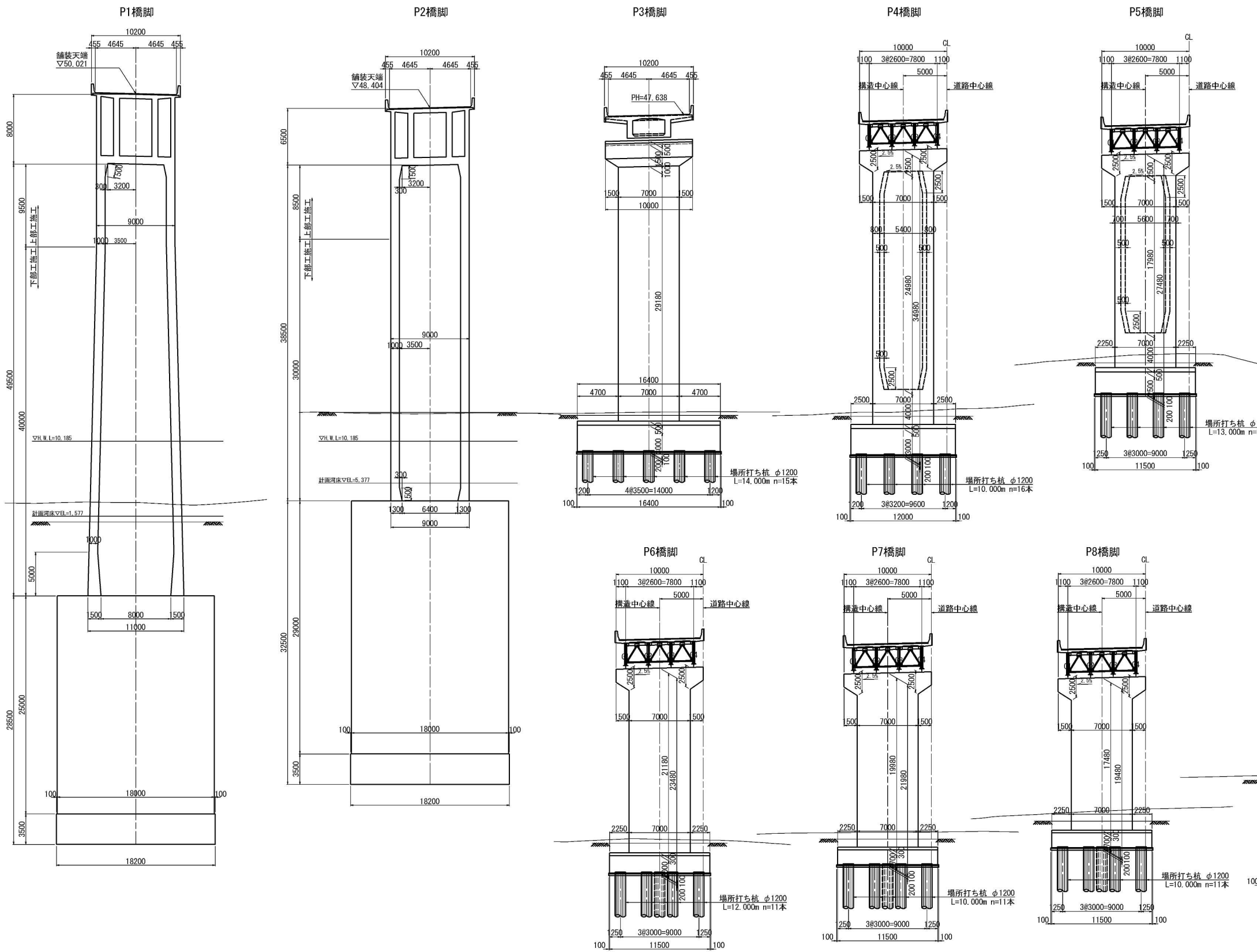
櫛引馬淵川橋 現況一般図



標準横断面図 S=1:250



断面図 S=1:500



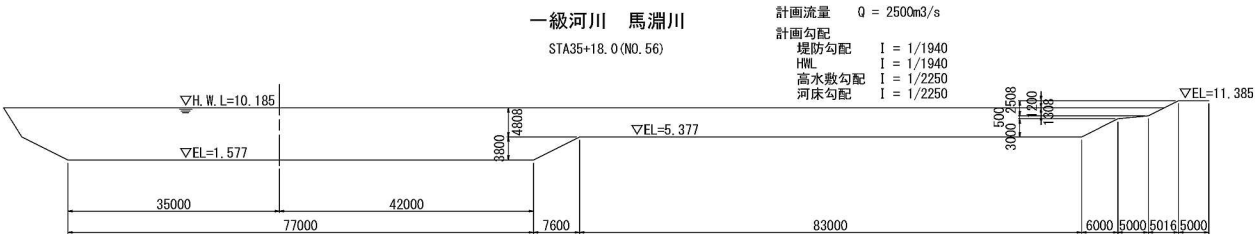
設計条件

橋長	239.000m
道路区分	第1種3級B規格
荷重	B活荷重
型式	PG3径間連続ラーメン箱桁橋
支間	74.300m+99.000+64.300m
有効幅員	9.000m
横断勾配	3.473% ~ 2.500%
縦断勾配	3.500% 1.300%
斜角	90°
平面曲線	A=500~R=∞
設計震度	Kh=0.30
上部コンクリート	$\sigma_{ck}=400\text{kgf/cm}^2$
下部コンクリート	橋台 $\sigma_{ck}=240\text{kgf/cm}^2$ 橋脚 $\sigma_{ck}=300\text{kgf/cm}^2$
鉄筋	SD345 $\sigma_{sa}=1800\text{kgf/cm}^2$ (床版 $\sigma_{sa}=1400\text{kgf/cm}^2$)
適用示方書	道路橋示方書・同解説(H6.8)Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅶ, 設計要領第2集

設計条件

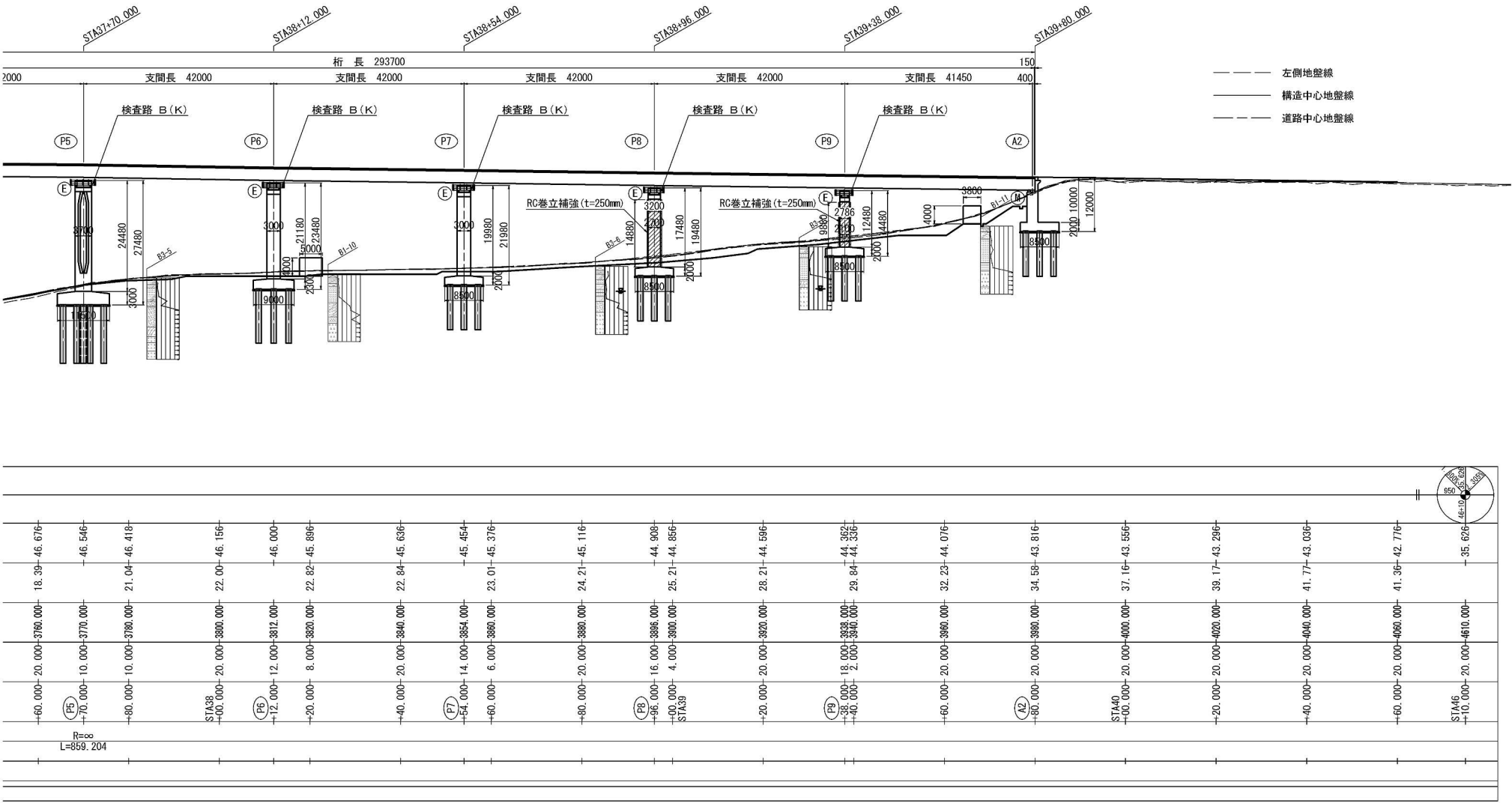
橋長	294.000m	桁長	293.700m
道路区分	第1種3級B規格		
荷重	B活荷重		
型式	上部工 鋼7径間連続鉄桁橋 下部工 逆T式橋台・壁式橋脚		
支間	41.450m+5@42.000m+41.450m		
有効幅員	9.000m		
横断勾配	-3.000%~2.500%		
縦断勾配	3.500% 1.300%		
斜角	90°		
設計震度	Kh=0.30~0.24		
使用材料	コンクリート $\sigma_{ck}=240\text{kgf/cm}^2$ 鉄筋 SD345 鋼材		
適用示方書	道路橋示方書・同解説(H6.8)Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅶ, 設計要領第2集		

河川定規図 S=1:1,250

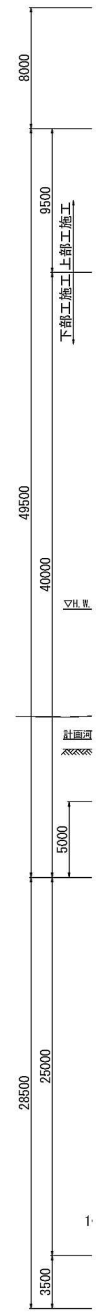
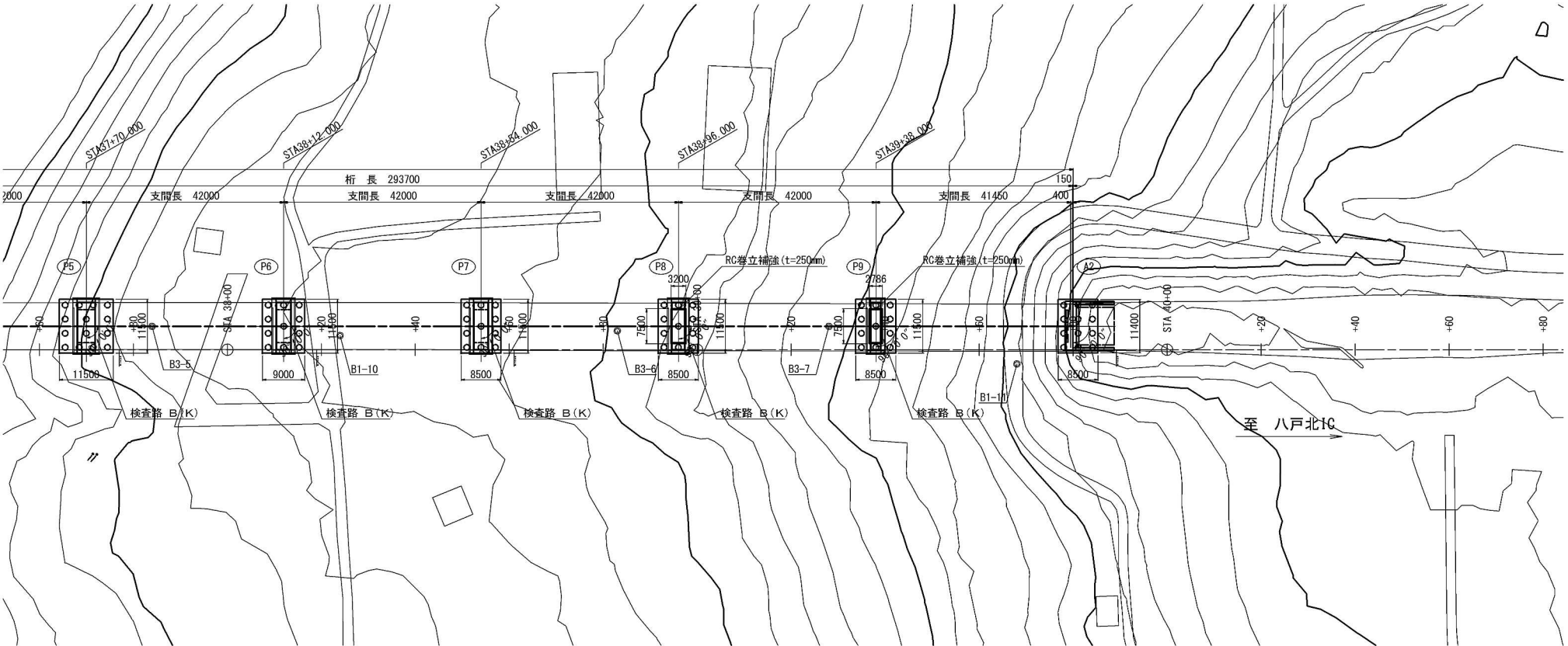
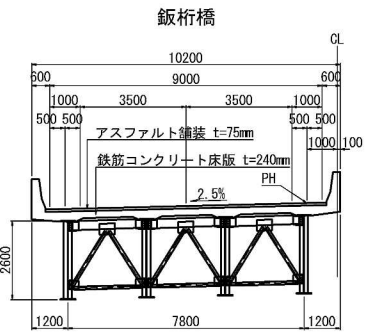
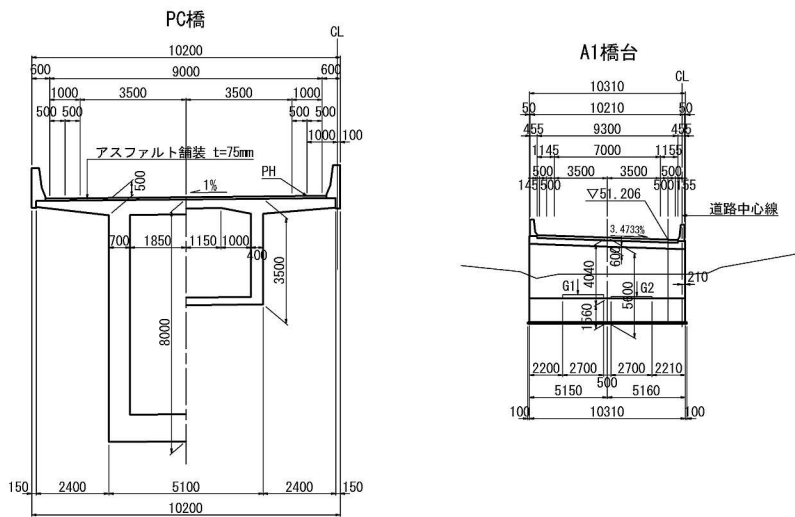


八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋	現況一般図	
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

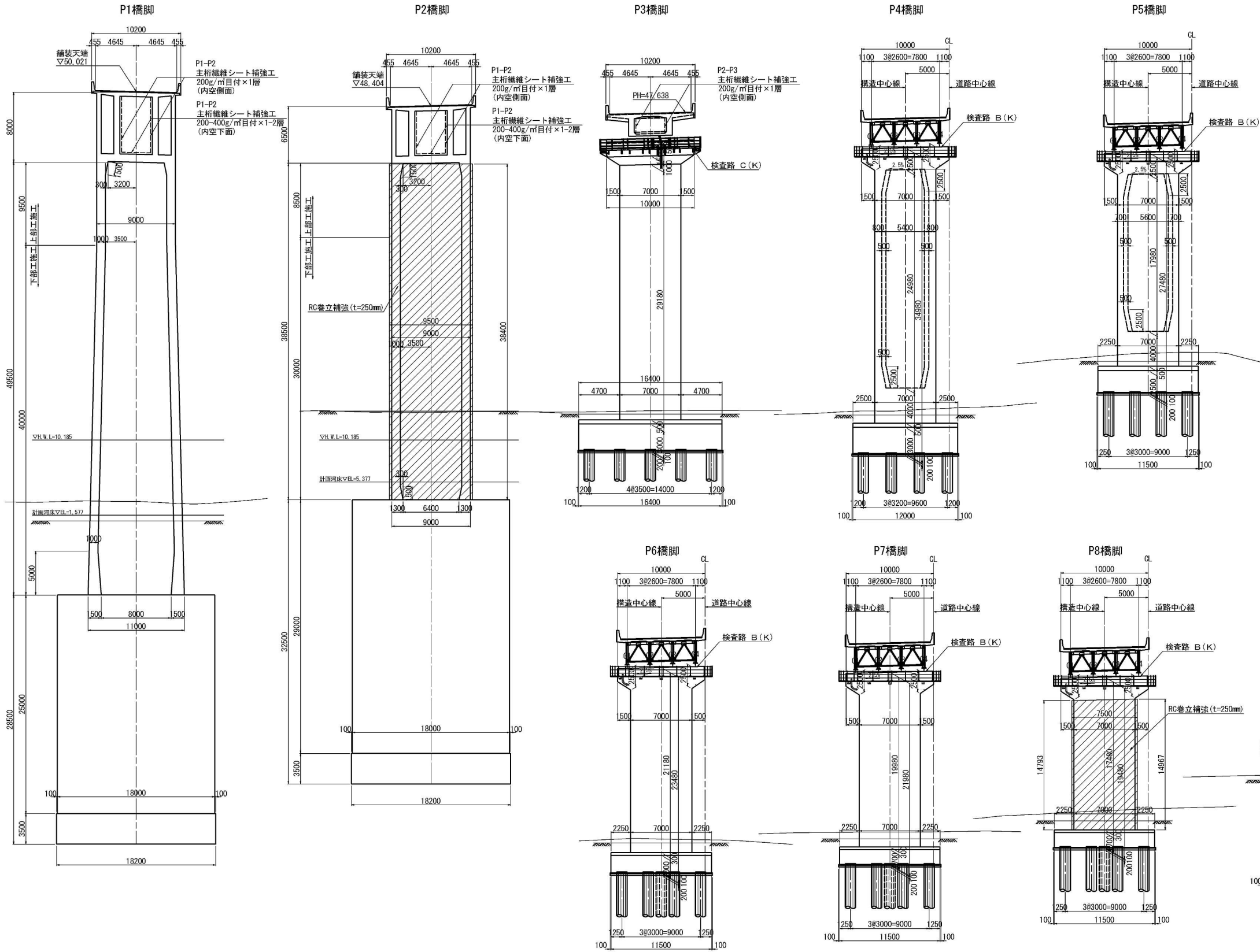
櫛引馬淵川橋 耐震補強一般図



標準横断面図 S=1:250



断面図 S=1:500



設計条件

橋長	239.000m
道路区分	第1種3級B規格
荷重	B活荷重
型式	PG3径間連続ラーメン箱桁橋
支間	74.300m+99.000+64.300m
有効幅員	9.000m
横断勾配	3.473% ~ 2.500%
縦断勾配	3.500% 1.300%
斜角	90°
平面曲線	A=500~R=∞
適用示方書	道路橋示方書・同解説(H24.3)Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ, 設計要領第2集(H29.7) 共通仕様書(R5.7)

設計条件

橋長	294.000m	桁長	293.700m
道路区分	第1種3級B規格		
荷重	B活荷重		
型式	上部工 鋼7径間連続板桁橋 下部工 逆T式橋台、壁式橋脚		
支間	41.450m+5@42.000m+41.450m		
有効幅員	9.000m		
横断勾配	~3.000%~2.500%		
縦断勾配	3.500% 1.300%		
斜角	90°		
適用示方書	道路橋示方書・同解説(H24.3)Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ, 設計要領第2集(H29.7) 共通仕様書(R5.7)		

補強項目一覧

工種	仕様・摘要
1. 主桁繊維シート補強工	・ P1-P3橋脚 主桁内空側面 200g/㎡目付×1層 ・ P1-P2橋脚 主桁内空下面 200-400g/㎡目付×1-2層
2. RC巻立補強	・ P2, P8, P9橋脚 RC巻立厚 t=250mm

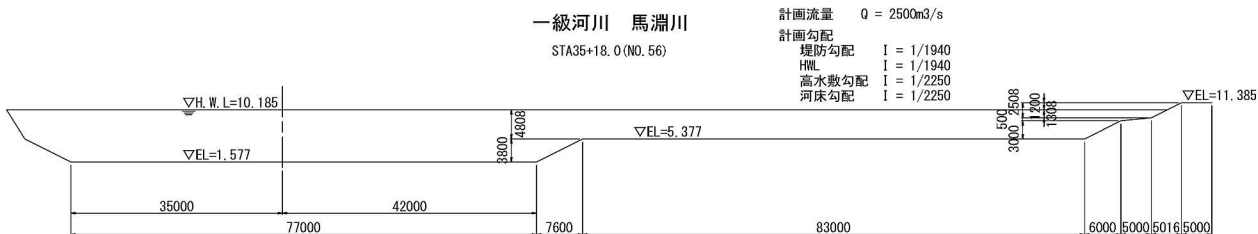
補強材料

コンクリート	設計基準強度 $\sigma_{ck}=30 \text{ N/mm}^2$
鉄筋	SD345

附帯工

工種	仕様・摘要
検査路B(K)	・ P4, P5, P6, P7, P8, P9橋脚 検査路(撤去・新設)
検査路C(K)	・ P3橋脚 検査路(撤去・新設)

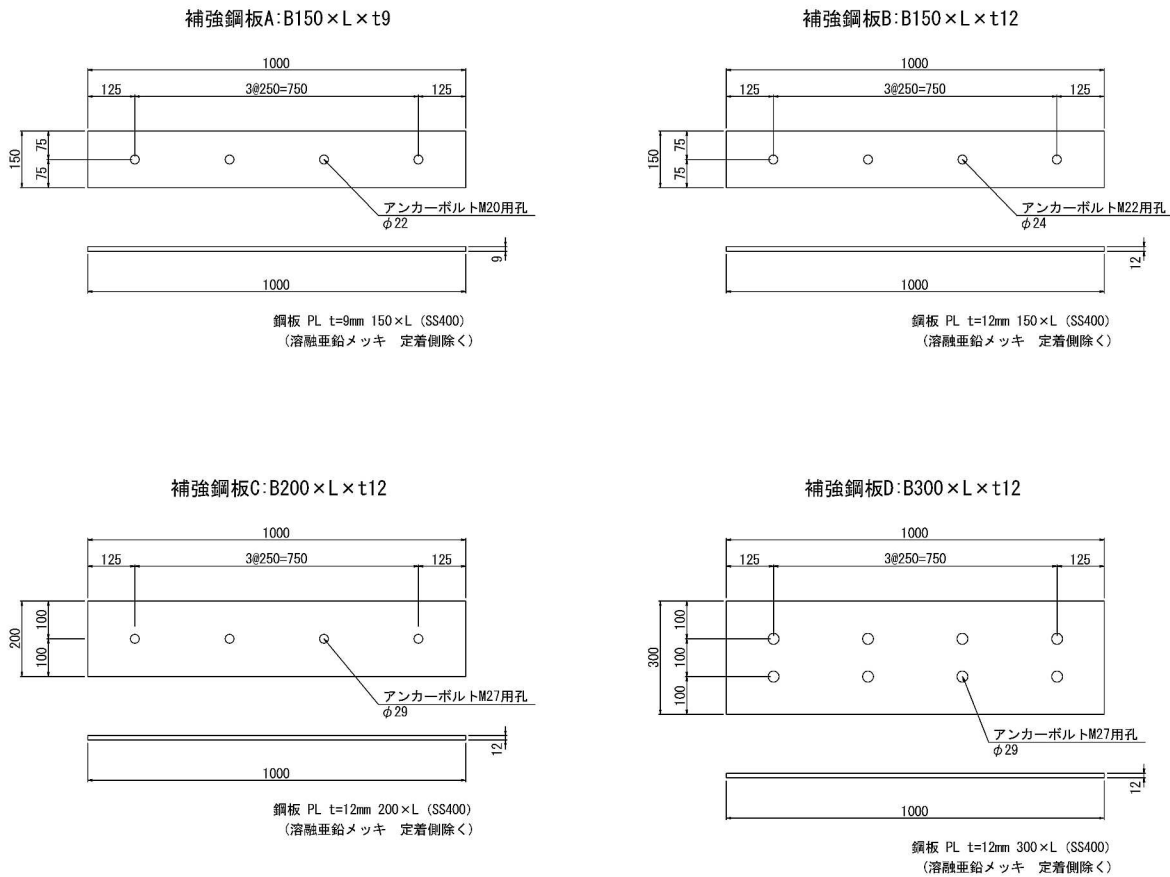
河川定規図 S=1:1,250



計画流量 $Q = 250 \text{ m}^3/\text{s}$
計画勾配
堤防勾配 $I = 1/1940$
H/L $I = 1/1940$
高水敷勾配 $I = 1/2250$
河床勾配 $I = 1/2250$

八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋	耐震補強一般図	
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエントコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

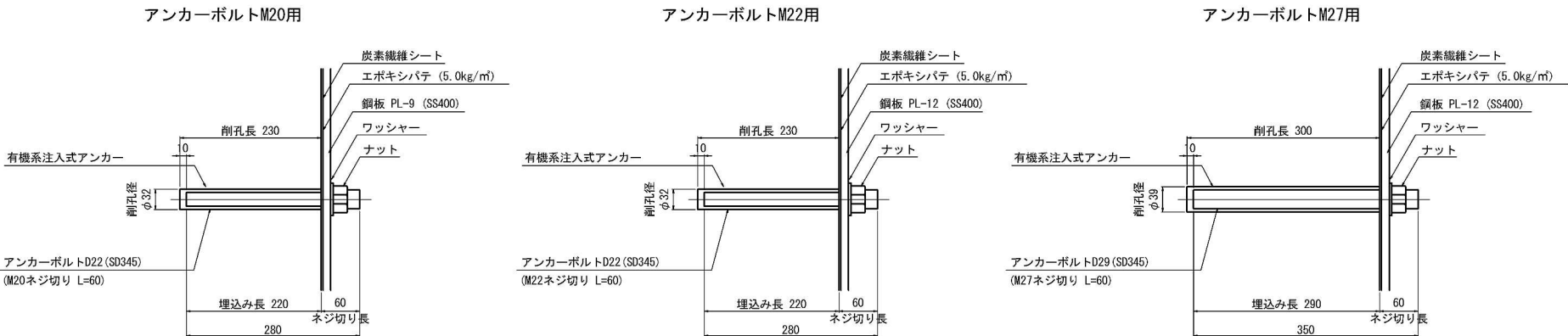
補強鋼板詳細図 S=1:20



規格		炭素		
シートの厚さ (mm)		0.111	0.167	0.222
目付量 (g/m ²)		200	300	400
引張強度 (N/mm ²)		3400	3400	3400
引張弾性率 (kN/mm ²)		245	245	245

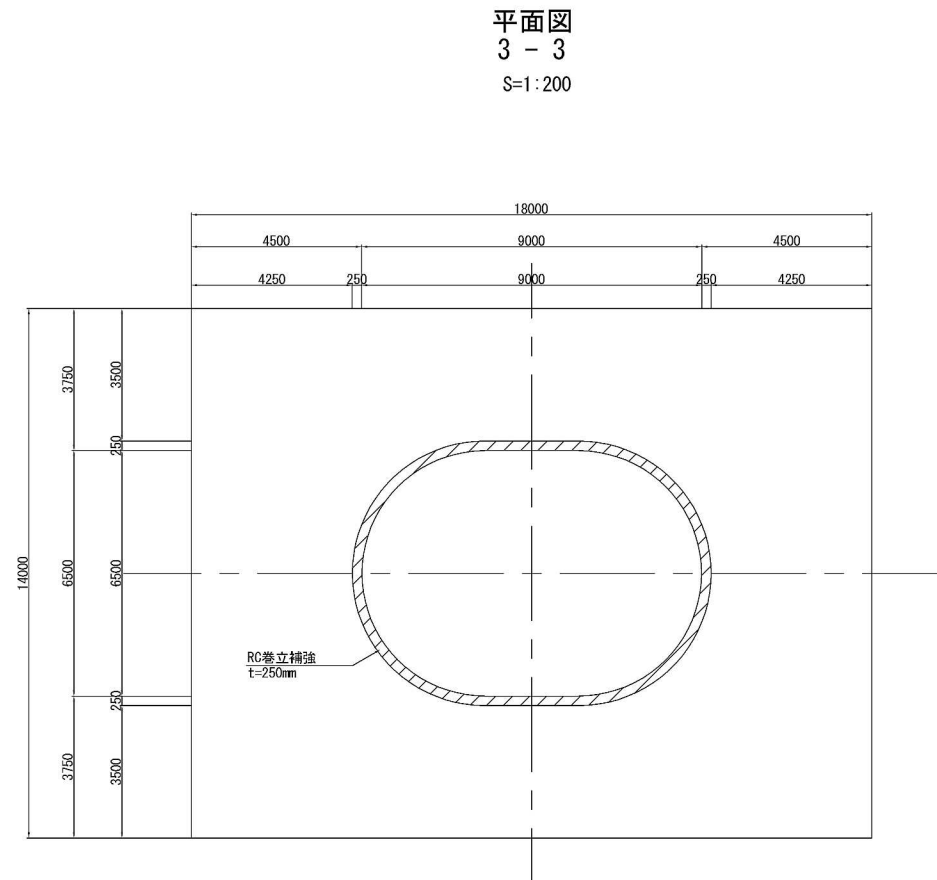
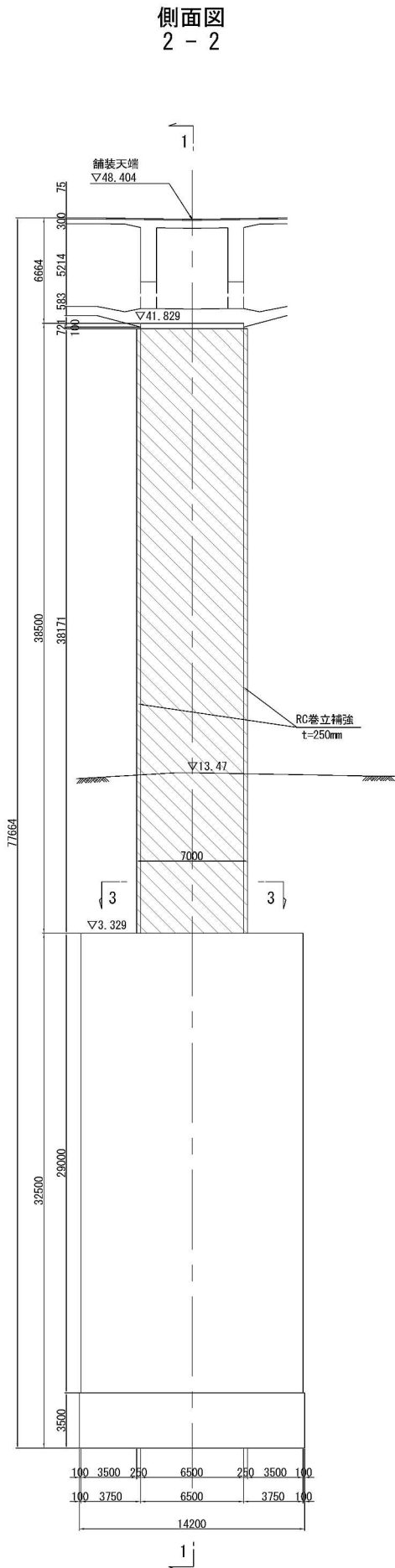
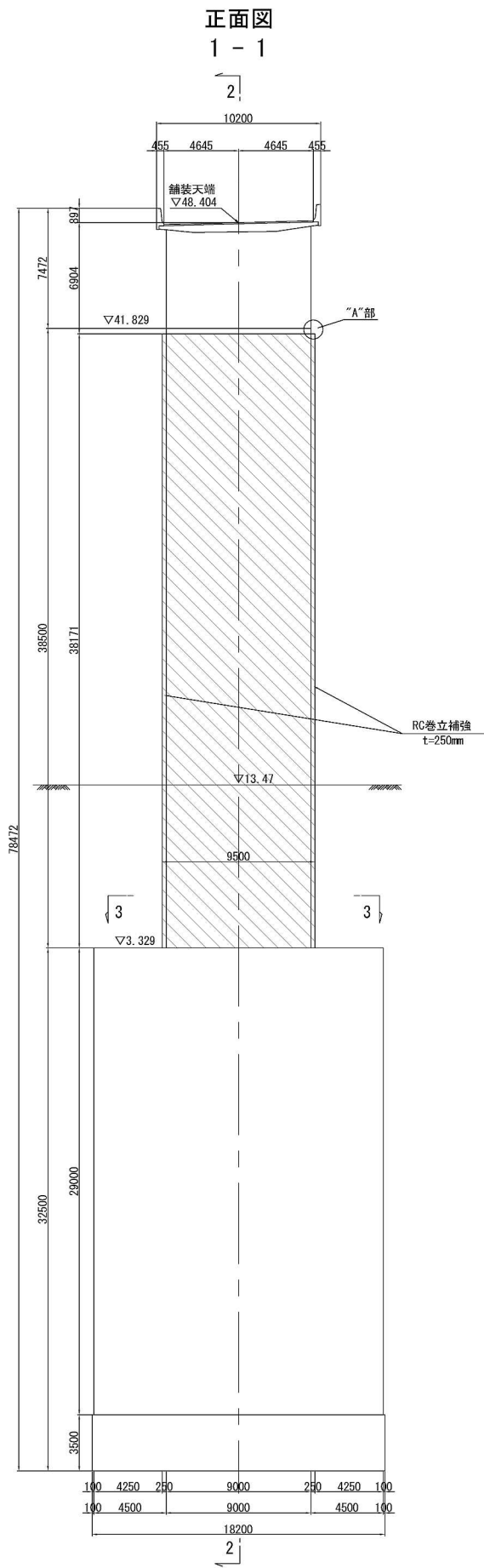
項目	仕様	単位	数量
下地処理工	プライマー工	m ²	105.7
	不陸調整工	m ²	105.7
炭素繊維シート工A	橋軸 周方向 目付量200g/m ²	m ²	55.8
	直角 周方向 目付量200g/m ²	m ²	22.8
炭素繊維シート工B	直角 周方向 目付量300g/m ²	m ²	8.8
炭素繊維シート工C	直角 周方向 目付量400g/m ²	m ²	36.8
表面仕土工A	仕上り材A	m ²	94.6
補強鋼板設置工	補強鋼板A: B150×L×t9	Kg	546.8
	補強鋼板B: B150×L×t12	Kg	70.7
	補強鋼板C: B200×L×t12	Kg	94.2
	補強鋼板D: B300×L×t12	Kg	155.4
	合計	Kg	867.1

補強鋼板定着部詳細図 S=1:5

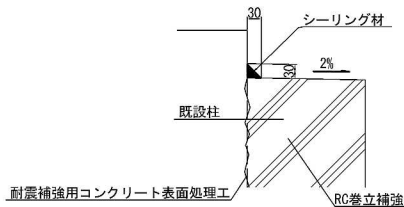


- 注記
- 現場原寸確認の上、詳細決定のこと。
 - 不陸修正材（エポキシパテ）の使用量は、下地状況確認後決定する。
 - ひび割れ幅0.20mm以上のものについては、ひび割れ注入を行う。事前調査の上決定すること。
 - エポキシ樹脂は、施工雰囲気温度5℃以下・雨天等湿度85%以上の場合は、施工してはならない。施工時には、水分を嫌うので十分注意する。
 - シートの施工順序は軸方向の後に周方向を施工すること。
 - 補強鋼板用アンカーは、軸方向シートを切断しないように施工すること。
 - これらの部材は溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は JIS H8641 HDZT77 とする。
但し、ボルト・ナット及び板厚 3.2mm 未満の部材は、HDZT49 とする。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト孔 +3mm を標準とする。

八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋 主桁繊維シート補強工図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		



“A”部詳細図 S=1:40



使用材料

コンクリート	既設	柱・底版	$\sigma_{ck}=30 \text{ N/mm}^2$
	補強	杭	$\sigma_{ck}=30 \text{ N/mm}^2$
鉄筋	既設	$\sigma_{ck}=30 \text{ N/mm}^2$	
	補強	SD345	

特記事項
・シーリング材の材料は、「構造物施工管理要領」Ⅱ-4-4
-4シーリング材の規定に従うものとする。

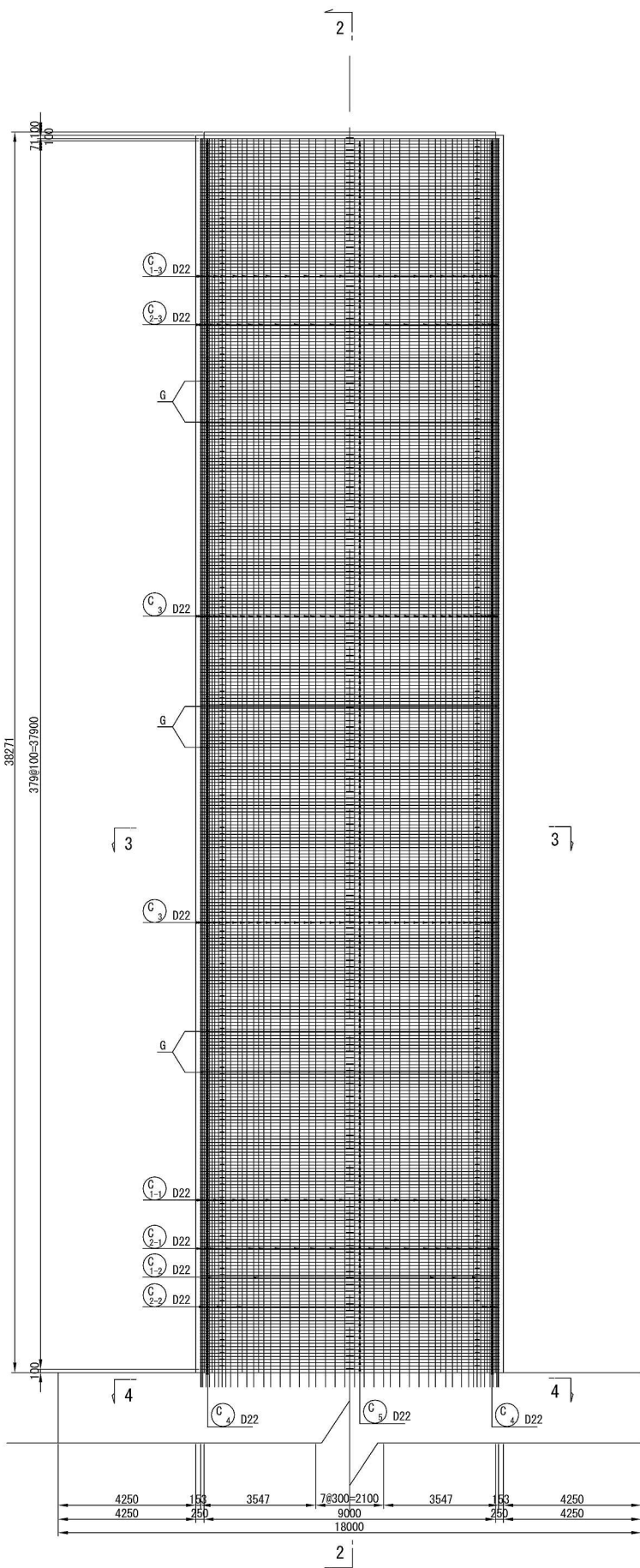
R C巻立補強数量表

項 目	細 別	単位	数量	摘要
コンクリート	A 1-5 (K)	m3	251.9	
型わく	T H (K)	m2	1030.6	
耐震補強用コンクリート表面処理工		m2	970.3	

八 戸 自 動 車 道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事				
図面の種類	櫛引馬淵川橋 P2橋脚補強一般図			
縮 尺	図 示	図面番号	/	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社			
	八 戸 管 理 事 務 所			

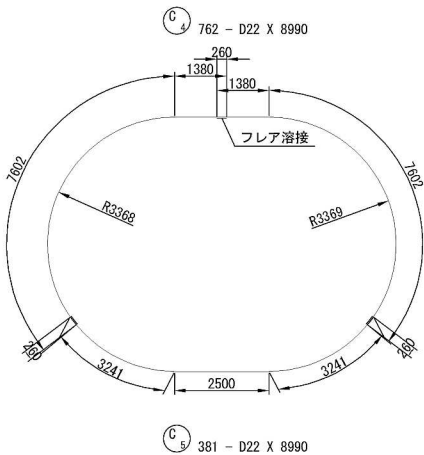
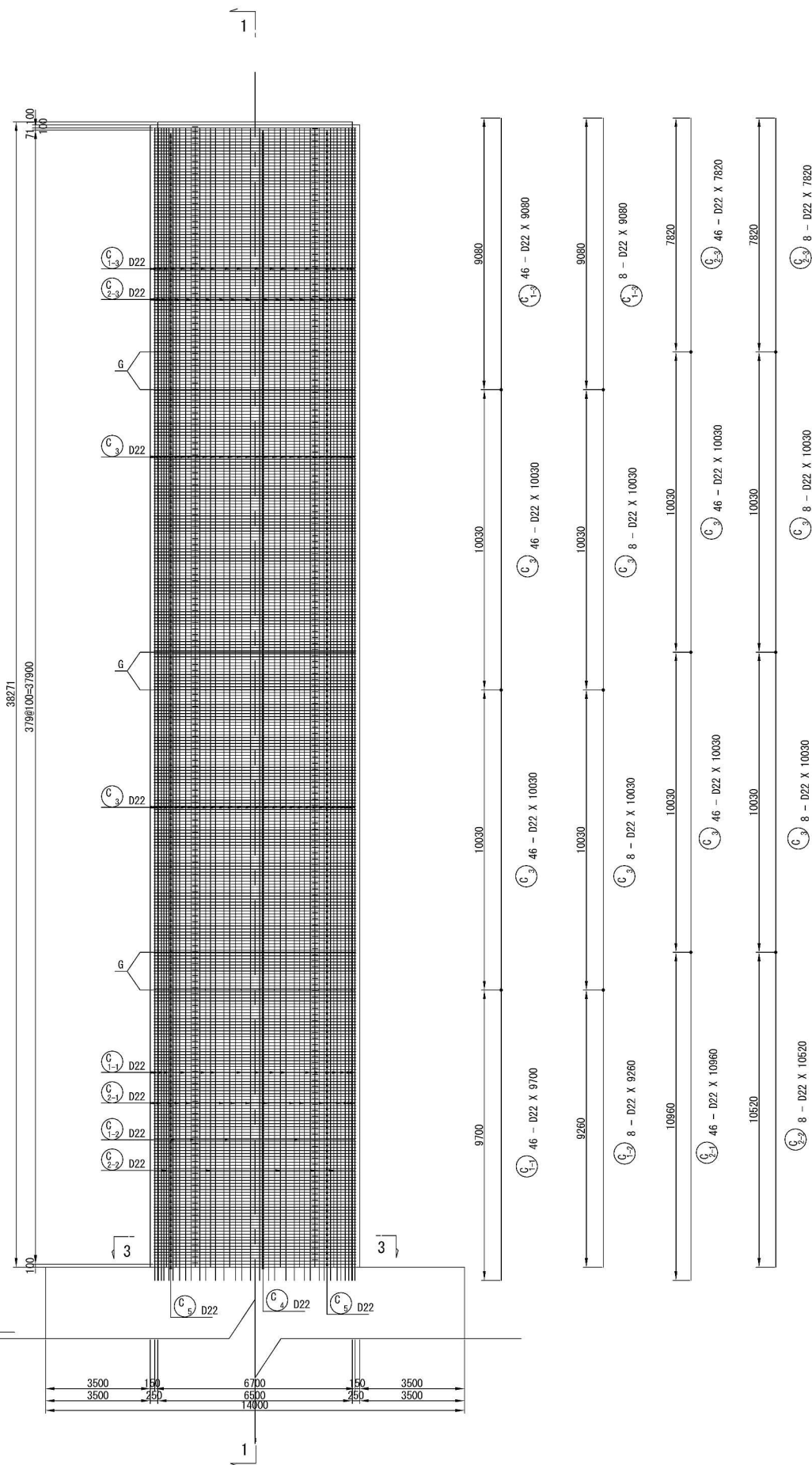
正面図

1 - 1

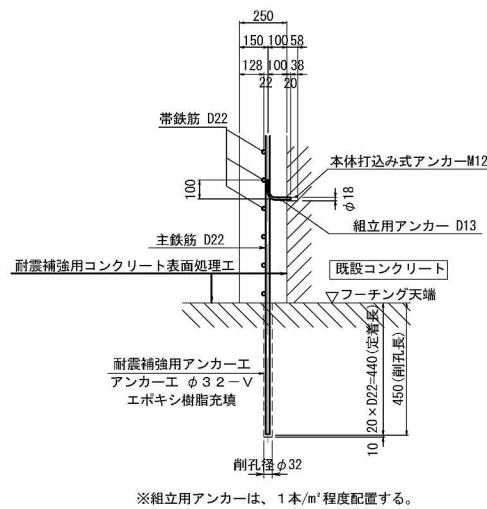


側面図

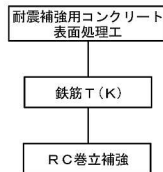
2 - 2



かぶり詳細図 S=1:40
(標準図)



R C巻立補強施工要領



- 注1) 地表線以下下部工形状は推定なので、施工の際は現地で確認を行うこと。
注2) 上記の現地確認を行った結果、寸法に差異が生じる場合は再度照査を行い、安全性を確認すること。
注3) アンカー筋設置の際は、既設鉄筋に損傷を与えないよう注意すること。
注4) 鉄筋の加工は現地実測の上行うこと。
注5) 鉄筋長は、四捨五入の10mm丸めとする。

鉄筋加工寸法表

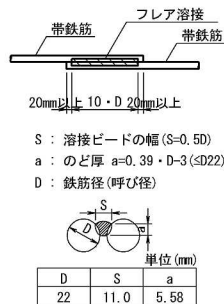
径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0φ		$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ		$\theta = 90^\circ$			$\theta = 135^\circ$		
	a	b	a	b	a	b	減長	a	b	減長
	減長 = 2L-a									
D13	39	71.5	61	-	17	56	156	3		
D16	48	88	75	192	21	69	192	4		
D19	57	104.5	89	228	25	82	228	5		
D22	66	121	104	264	28	95	264	5		
D25	75	137.5	118	300	32	108	300	6		
D29	87	159.5	137	348	37	125	348	7		
D32	96	176	151	384	41	138	384	8		
D35	105	192.5	165	420	45	151	420	8		
D38	114	209	179	456	49	164	456	9		
D41	123	225.5	193	492	53	177	492	10		
D51	153	280.5	240	612	66	220	612	12		

鉄筋質量表

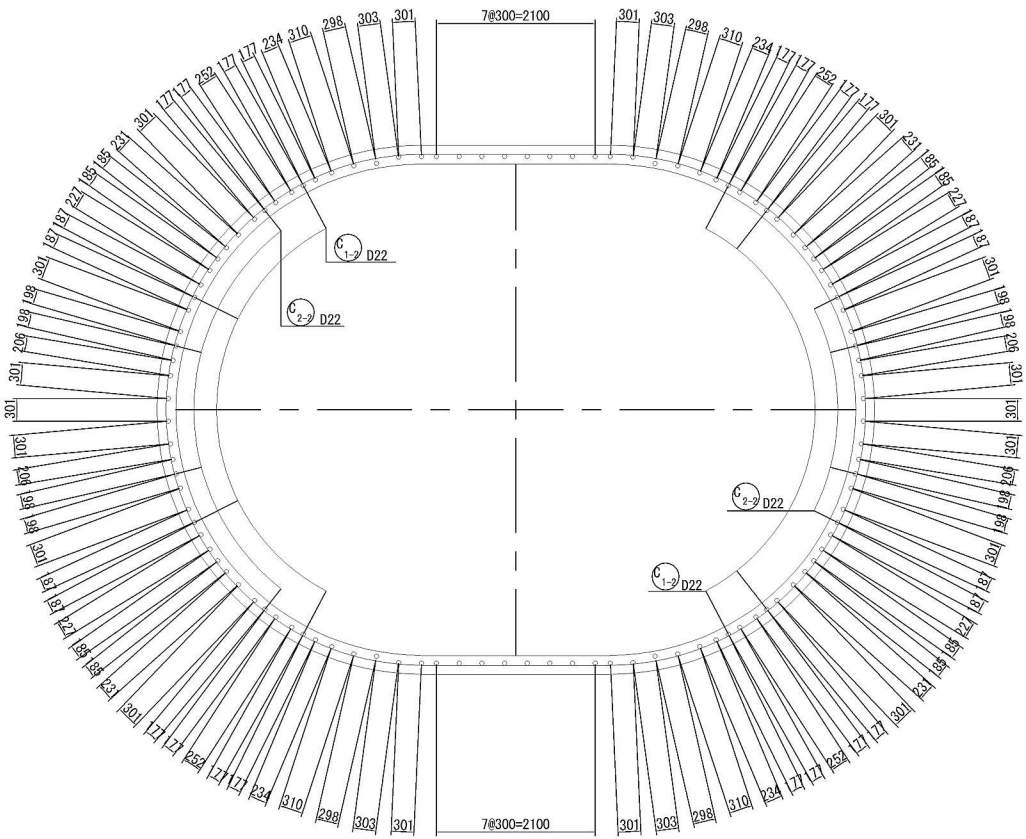
記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
C1-1	D22	9700	46	3.04	29.5	1357	
C1-2	D22	9260	8	3.04	28.2	226	
C1-3	D22	9080	54	3.04	27.6	1490	
C2-1	D22	10960	46	3.04	33.3	1532	
C2-2	D22	10520	8	3.04	32.0	256	
C2-3	D22	7820	54	3.04	23.8	1285	
C3	D22	10030	216	3.04	30.5	6588	
C4	D22	8990	762	3.04	27.3	20803	(762)
C5	D22	8990	381	3.04	27.3	10401	(381)
鉄筋質量合計							
鉄筋 T							
D22							43938 kg
合計							43938 kg
フレア溶接箇所数							
D22							1143 個
ガス圧接箇所数							
D22							324 個

注) () はフレア溶接箇所数を示す。

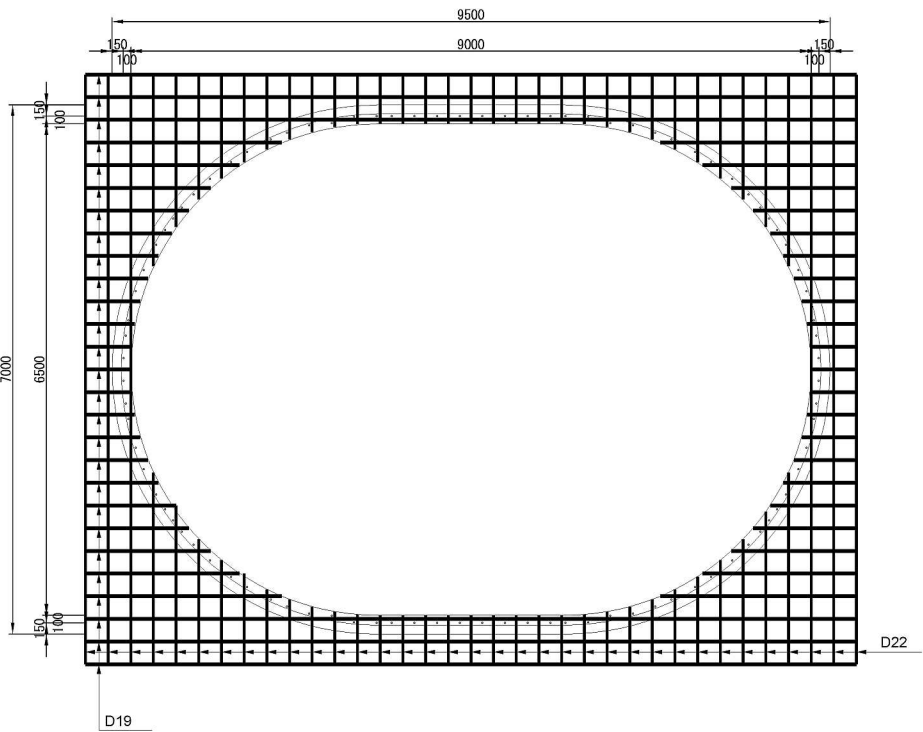
フレア溶接詳細図



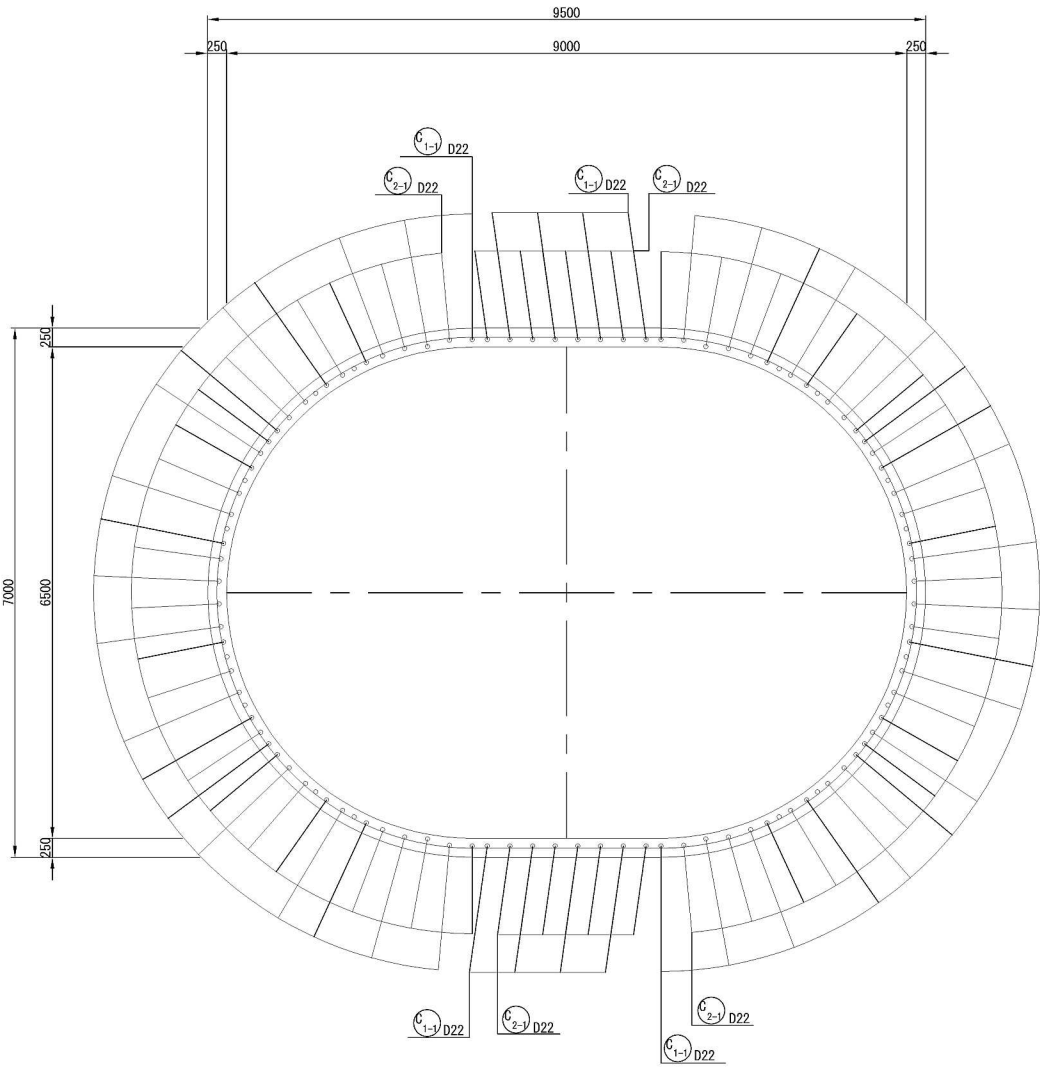
平面図
3 - 3
S=1:100



定着鉄筋とフーチング配筋との干渉確認

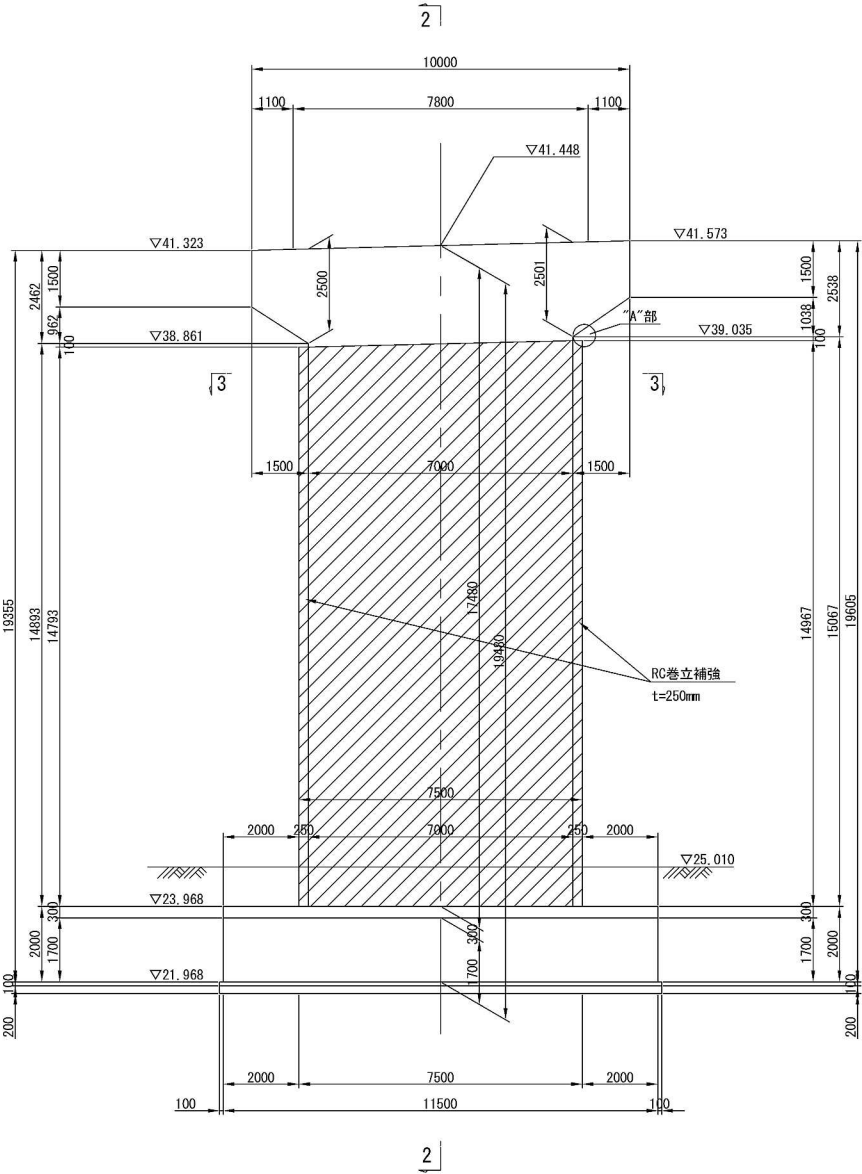


平面図
4 - 4
S=1:100

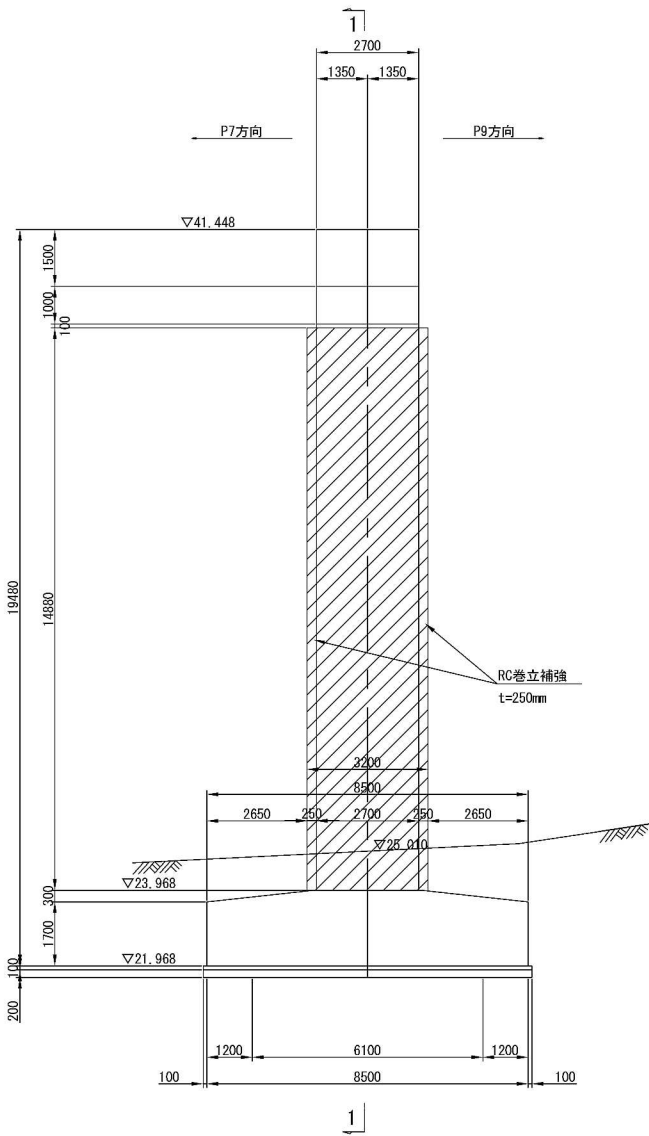


八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋 P2橋脚補強配筋図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

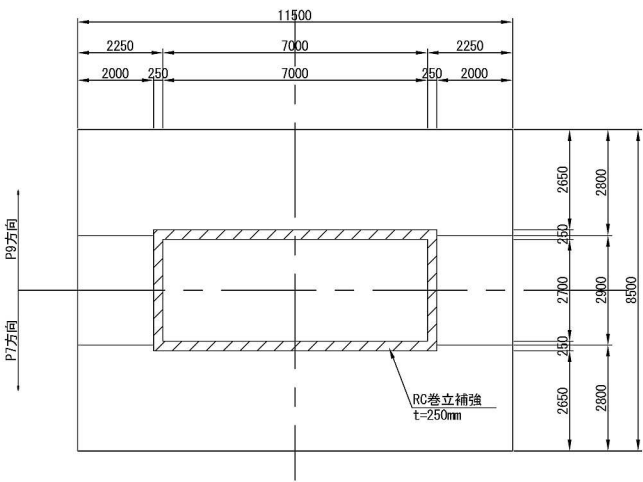
正面図
1 - 1



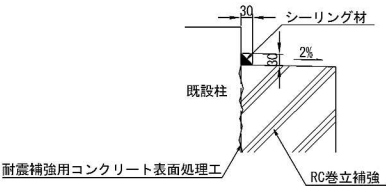
側面図
2 - 2



平面図
3 - 3



“A”部詳細図 S=1:20



使用材料

コンクリート	既設	柱・底版	$\sigma_{ck}=24 \text{ N/mm}^2$
		杭	$\sigma_{ck}=24 \text{ N/mm}^2$
鉄筋	補強		$\sigma_{ck}=30 \text{ N/mm}^2$
	既設		SD345
	補強		SD345

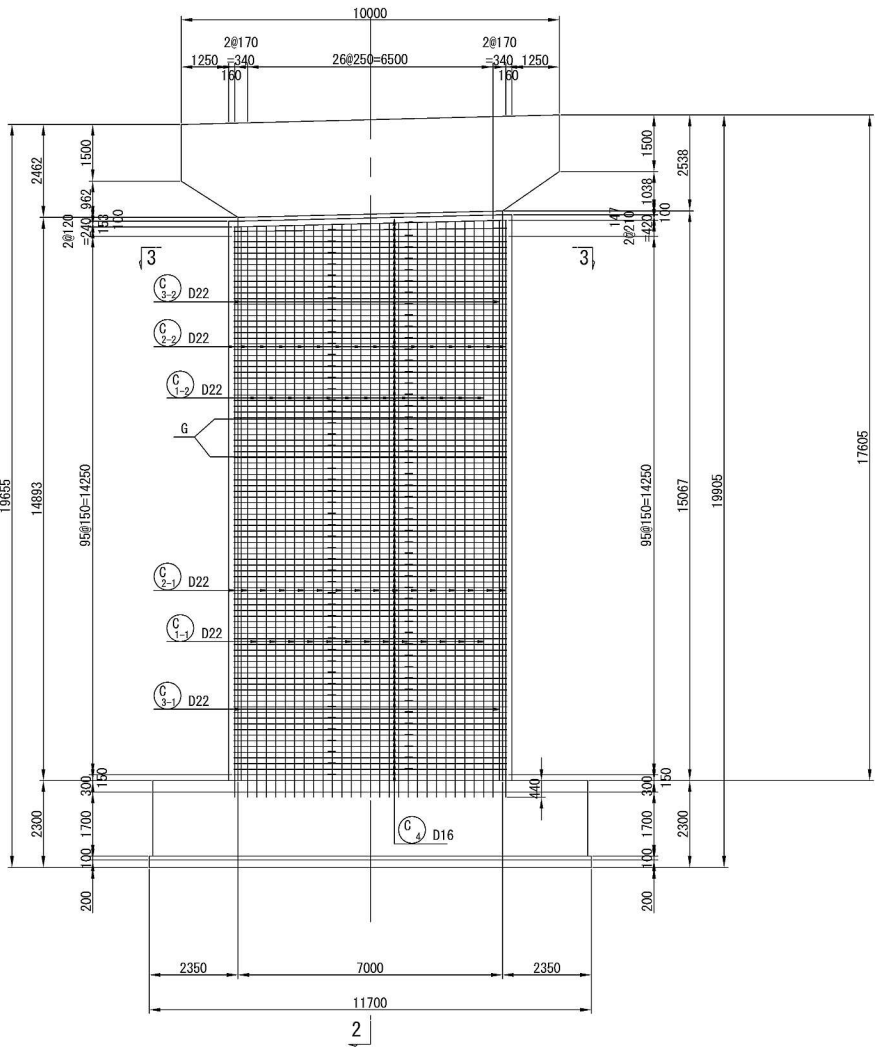
RC巻立補強数量表

項目	細別	単位	数量	摘要
コンクリート	A 1-5 (K)	m3	75.9	
型わく	TH (K)	m2	318.4	
耐震補強コンクリート表面表面処理工		m2	288.7	

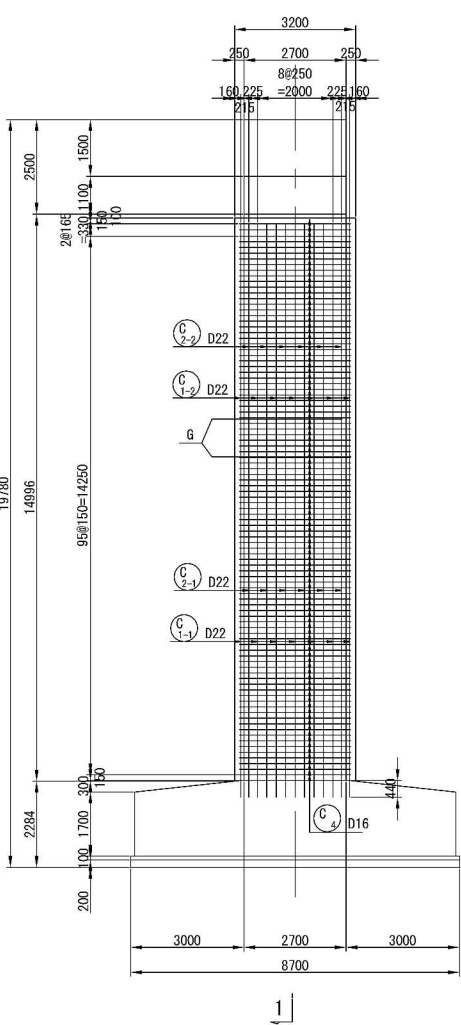
特記事項
・シーリング材の材料は、「構造物施工管理要領」Ⅱ-4-4
-4シーリング材の規定に従うものとする。

八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋 P8橋脚補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

正面図
1 - 1

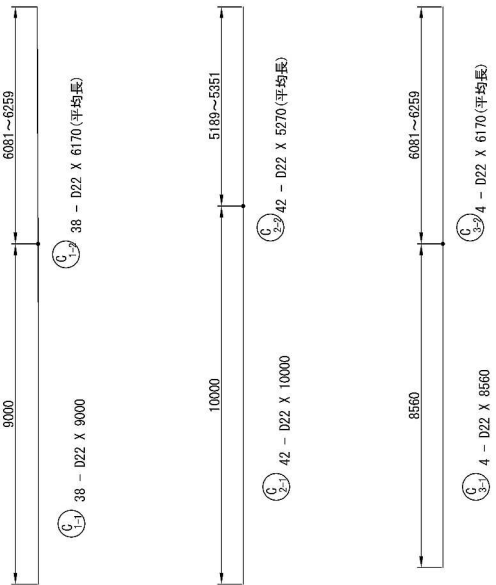
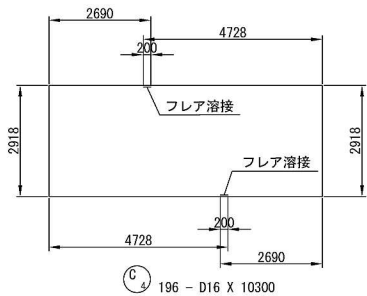
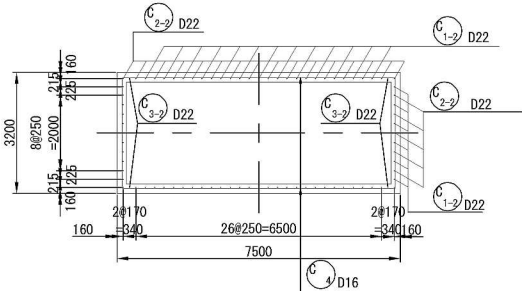
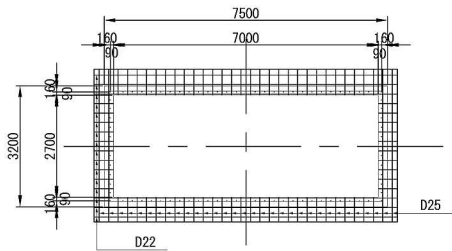


側面図
2 - 2

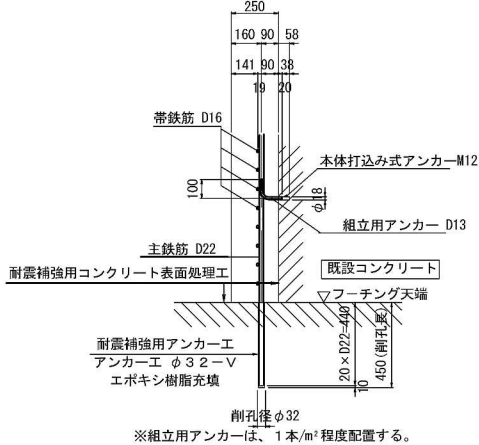


平面図
3 - 3

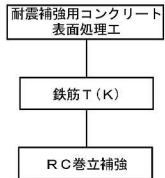
定着鉄筋とフーチング配筋との干渉確認



かぶり詳細図 S=1:20
(標準図)



RC巻立補強施工要領



- 注1) 地表線以下の下部工形状は推定なので、施工の際は現地で確認を行うこと。
注2) 上記の現地確認を行った結果、寸法に差異が生じる場合は再度調査を行い、安全性を確認すること。
注3) アンカー筋設置の際は、既設鉄筋に損傷を与えないよう注意すること。
注4) 鉄筋の加工は現地実測の上行うこと。
注5) 鉄筋長は、四捨五入の10mm丸めとする。

鉄筋加工寸法表

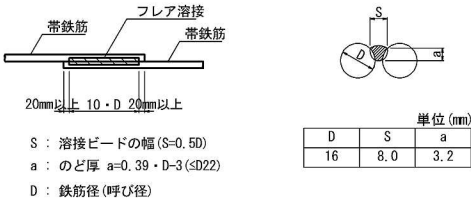
径	θ ≤ 90° R=3.0φ		θ > 90° R=5.5φ		θ = 90°			θ = 135°		
	a	b	a	b	a	b	減長	a	b	減長
	減長 = 2L - a									
D13	39	71.5	61	-	17	56	156	3		
D16	48	88	75	192	21	69	192	4		
D19	57	104.5	89	228	25	82	228	5		
D22	66	121	104	264	28	95	264	5		
D25	75	137.5	118	300	32	108	300	6		
D29	87	159.5	137	348	37	125	348	7		
D32	96	176	151	384	41	138	384	8		
D35	105	192.5	165	420	45	151	420	8		
D38	114	209	179	456	49	164	456	9		
D41	123	225.5	193	492	53	177	492	10		
D51	153	280.5	240	612	66	220	612	12		

鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
C1-1	D22	9000	38	3.04	27.4	1041	
C1-2	D22	6170	38	3.04	18.8	714	
C2-1	D22	10000	42	3.04	30.4	1277	
C2-2	D22	5270	42	3.04	16.0	672	
C3-1	D22	8560	4	3.04	26.0	104	
C3-2	D22	6170	4	3.04	18.8	75	
C4	D16	10300	196	1.56	16.1	3156	(196)
鉄筋質量合計							
鉄筋 T							
D22						3883 kg	
D16						3156 kg	
合計						7039 kg	
フレア溶接箇所数							
D16						196 個	
ガス圧接箇所数							
D22						84 個	

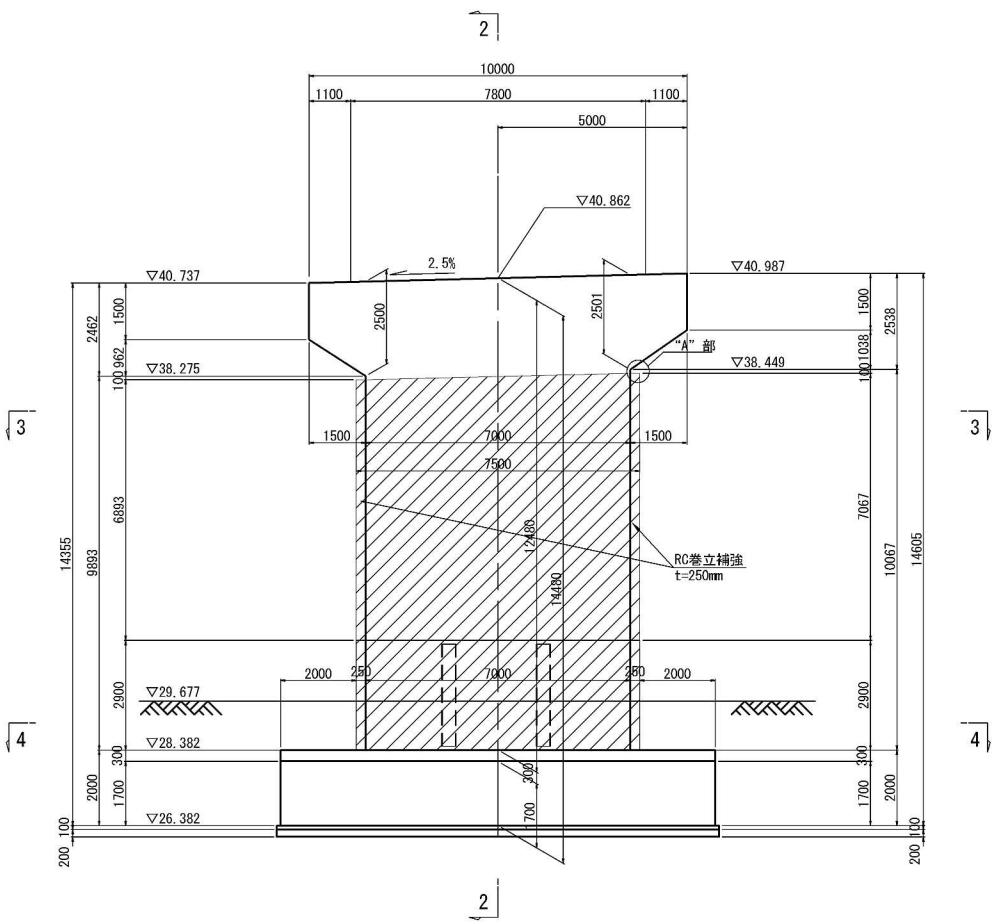
注) : () はフレア溶接箇所数を示す。

フレア溶接詳細図

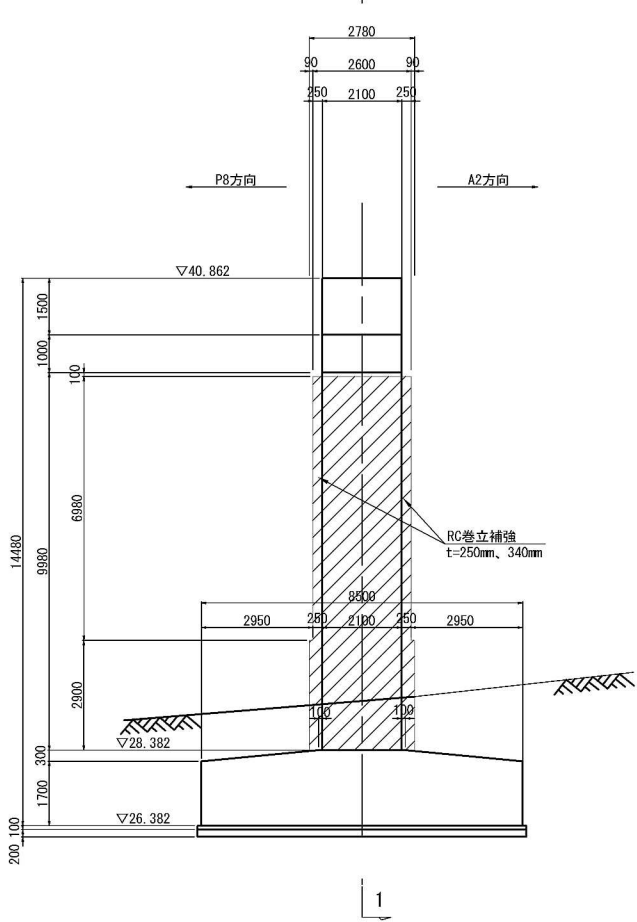


単位 (mm)		
D	S	a
16	8.0	3.2

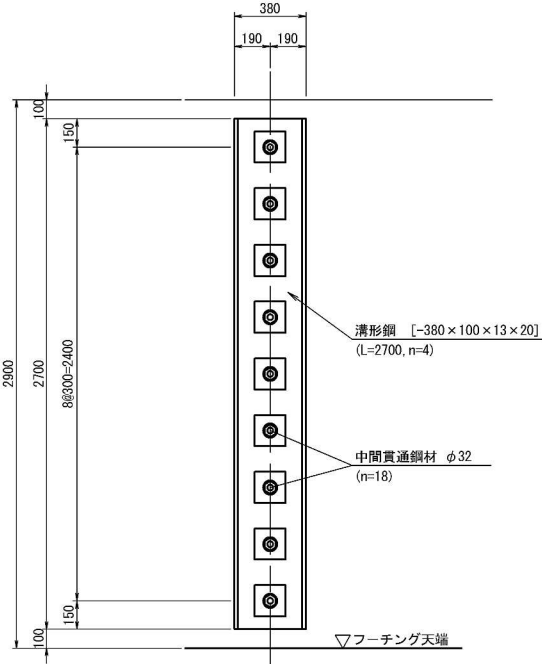
正面図
1 - 1



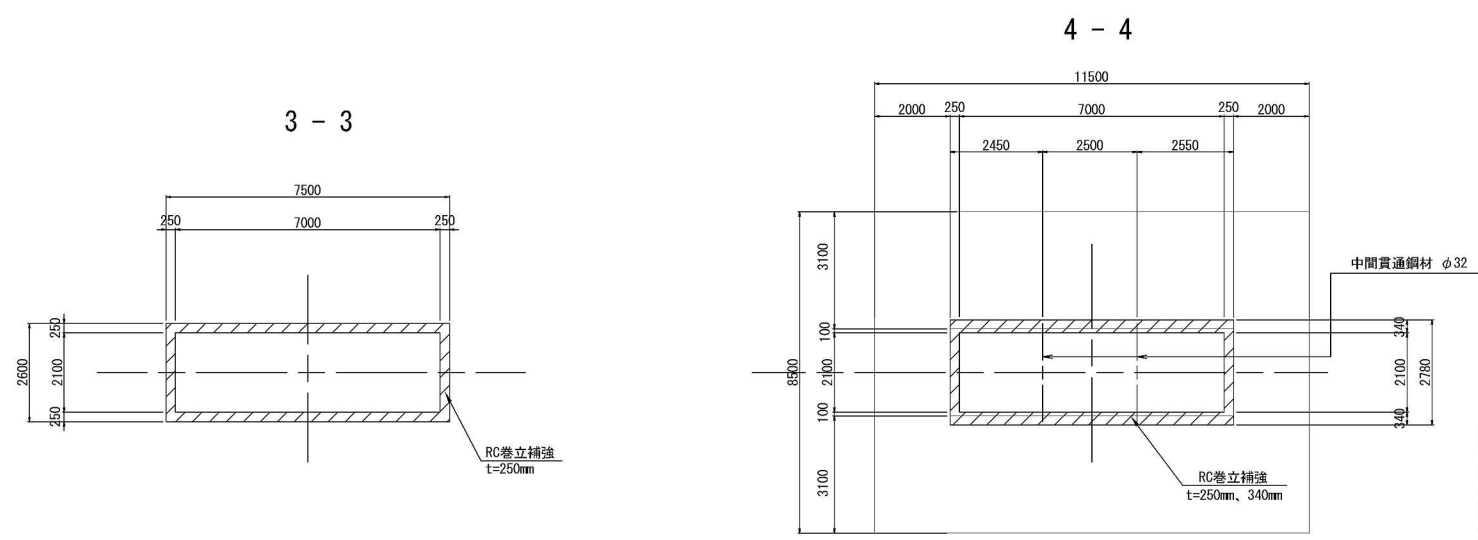
側面図
2 - 2



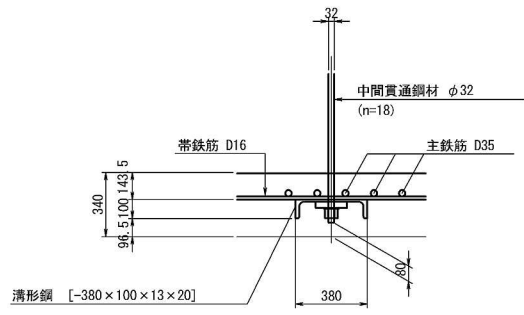
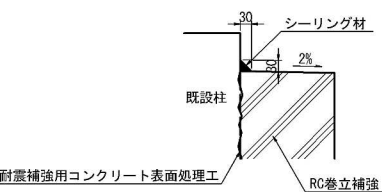
中間貫通鋼材定着部詳細図 S=1:40



平面図



“A”部詳細図 S=1:20



使用材料

コンクリート	既設	柱・底版	$\sigma_{ck}=24 \text{ N/mm}^2$
		杭	$\sigma_{ck}=30 \text{ N/mm}^2$
鉄筋	既設		$\sigma_{ck}=30 \text{ N/mm}^2$
			SD345
中間貫通鋼材	補強		SD345
			SBPR B種1号

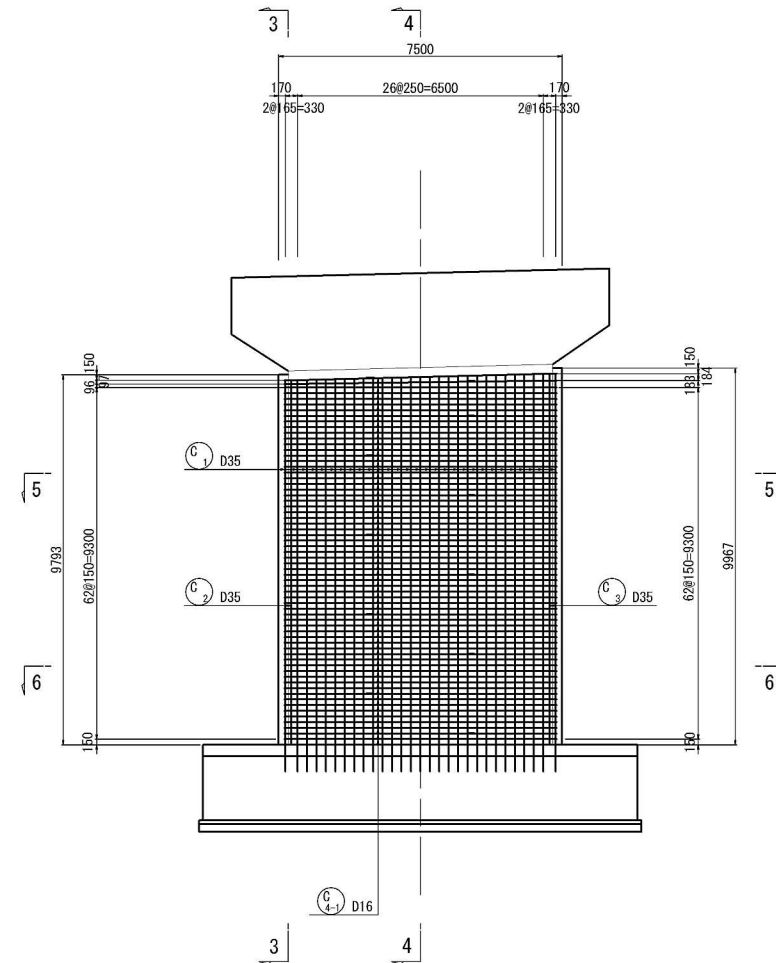
RC巻立補強数量表

項目	細別	単位	数量	摘要
コンクリート	A 1-5 (K)	m3	51.3	
型枠	T H (K)	m2	202.1	
耐震補強コンクリート表面処理工		m2	179.8	
中間貫通鋼材工		Kg	297.6	

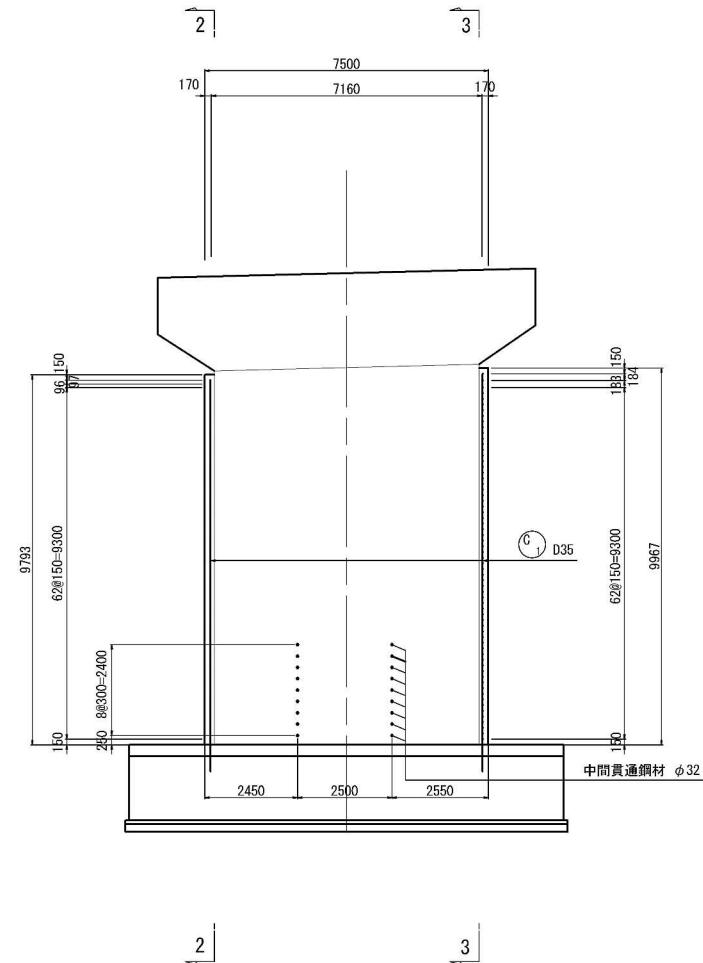
特記事項
・シーリング材の材料は、「構造物施工管理要領」Ⅱ-4-4
→4シーリング材の規定に従うものとする。

八戸自動車道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋 P9橋脚補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

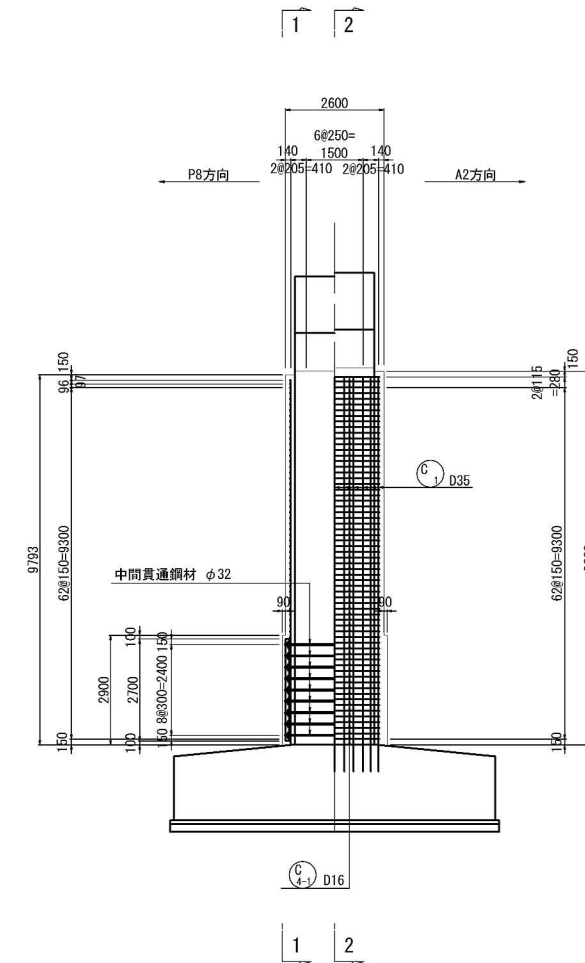
正面図
1 - 1



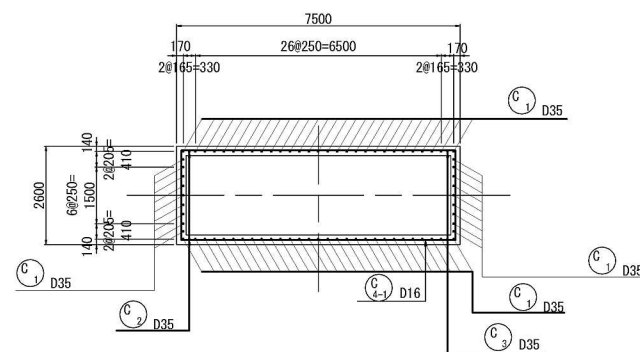
正面図
2 - 2



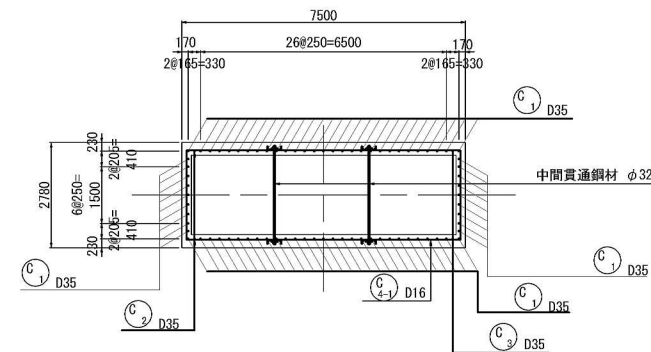
側面図
3 - 3 4 - 4



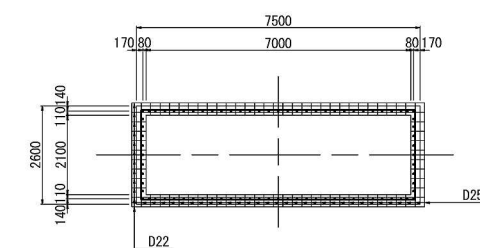
平面図
5 - 5



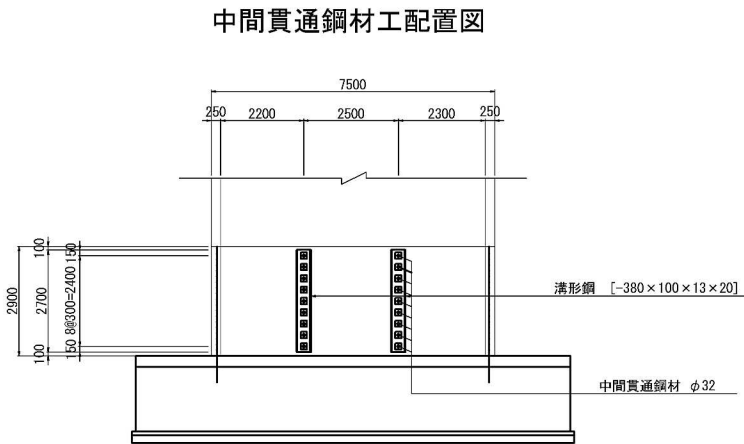
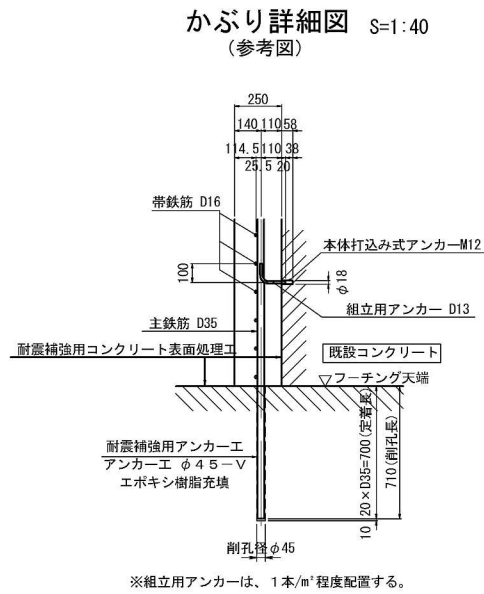
平面图
6-6



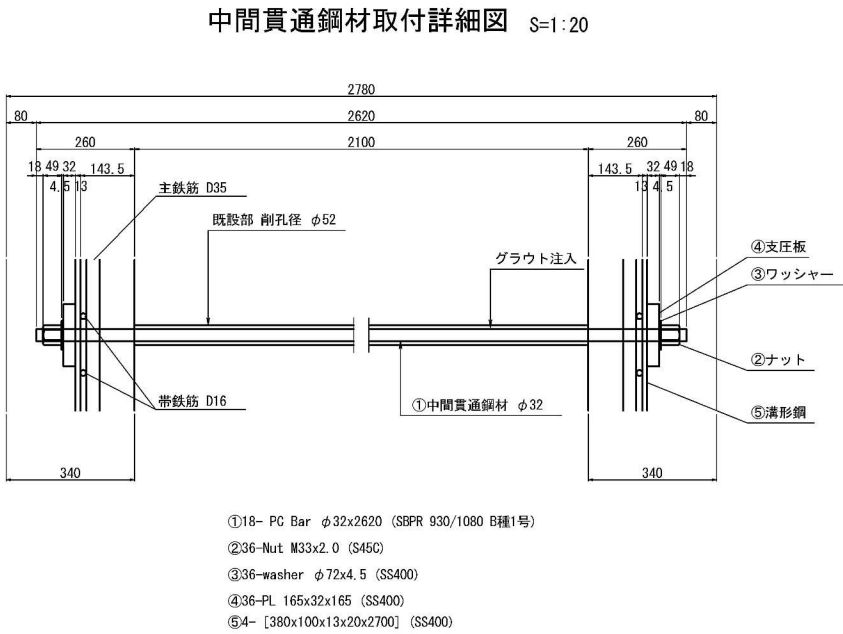
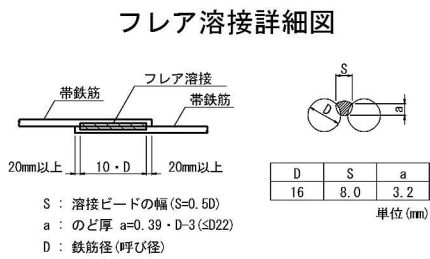
定着鉄筋とフーチング配筋との干渉確認



八戸自動車道 楡引馬淵川橋引震補強工事			
楡引馬淵川橋			
図面の種類	P9標引補強配筋図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

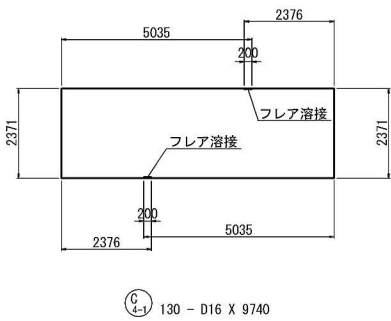
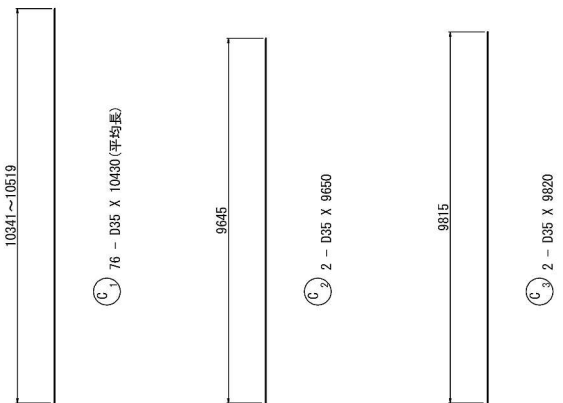


径		$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0φ		$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ		$\theta = 90^\circ$			$\theta = 135^\circ$		
		a	b	a	b	減長	a	b	減長	a	b
D13	39	71.5	61	-	17	56	156	3			
D16	48	88	75	192	21	69	192	4			
D19	57	104.5	89	228	25	82	228	5			
D22	66	121	104	264	28	95	264	5			
D25	75	137.5	118	300	32	108	300	6			
D29	87	159.5	137	348	37	125	348	7			
D32	96	176	151	384	41	138	384	8			
D35	105	192.5	165	420	45	151	420	8			
D38	114	209	179	456	49	164	456	9			
D41	123	225.5	193	492	53	177	492	10			
D51	153	280.5	240	612	66	220	612	12			

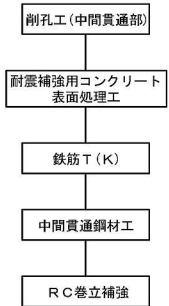


記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
C1	D35	10430	76	7.51	78.3	5951	平均長
C2	D35	9650	2	7.51	72.5	145	
C3	D35	9820	2	7.51	73.7	147	
C4-1	D16	9740	130	1.56	15.2	1976	(130)
鉄筋質量合計							
鉄筋 T							
D35						6243 kg	
D16						1976 kg	
合 計						8219 kg	
フレア溶接箇所数							
D16						130 個	

注) : () はフレア溶接箇所数を示す。



橋脚耐震補強施工要領



- 注1) 本橋脚の構造寸法は、設計当時の図面および本業務での現地調査結果に基づくものであるため、施工前に再度現地確認を行い施工に反映すること。
- 注2) 地表線以下の下部工形状は推定なので、施工の際は現地で確認を行うこと。
- 注3) 上記の現地確認を行った結果、寸法に差異が生じる場合は再度照査を行い、安全性を確認すること。
- 注4) アンカー筋設置の際は、既設鉄筋に損傷を与えないよう注意すること。
- 注5) 鉄筋の加工は現地実測の上行うこと。
- 注6) 鉄筋長は、四捨五入の10mm丸めとする。

八 戸 自 動 車 道 櫛引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	櫛引馬淵川橋 P9橋脚補強配筋図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		